平成27年7月1日発行（隔月発行）Vol.726号

“経営に知恵と革新”

マネジメント コンサルタント
Management Consultant

7・8月号
July 2015

●第61回定時社員総会開催
●全国研成田大会開催案内

平成27年度第61回定時社員総会開催される

一般社団法人 日本経営士会

第49回全国研究会議は成田で開催！

観光振興により、地域の創生へ！

政府は、平成27年度の予算概算に「地方創生」をテーマとした仕事創造、観光創造の二つの輪を打ち出しました。

人口減少・少子高齢化などの社会環境の変化や経済情勢の移り変わりの中で、今地方自治体は向こう5年間の競争のスタートラインに立っています。これまで地方経済を支えてきた公共投資も減少傾向にあるなか、やるべきことは、地域資源を活用した経済の活性化しかありません。

そうした中、千葉県では首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の開通、成田空港の機能強化、そして2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定など、観光資源にとって大きな追い風が吹いています。このチャンスを最大限生かした観光振興を通じ、官・民が一体となった新たな創生活動が求められています。

成田大会では、千葉県及び関係機関よりご参加を募り、各界よりこの地方創生に向けた提言を頂き、自らの変革につながる大会を目指して準備をしております。

今回号には、参加申込書を貼付しております。皆様の参加を心よりお待ちしております。

平成27年7月

一般社団法人日本経営士会

■会　　場　ＡＮＡクラウンプラザホテル成田
成田空港駅または空港第二ビル駅からホテルバス
銀座駅・東京駅から成田空港近隣ホテル行きバス
◆宿　　泊　ＡＮＡクラウンプラザホテル成田
◆開　催　日　平成 27 年 10 月 11 日（日）、12 日（月祝）
◆**実 行 委 員**　一般社団法人日本経営士会　千葉支部

〒275-0022　千葉県習志野市香澄５－１－１７
TEL：080-5484-0900　URL：http://keieishi-chiba.org/

認定経営革新等支援機関
一般社団法人日本経営士会本部
〒102 - 0084　東京都千代田区二番町12 - 12　B. D. A. 二番町ビル5F
電話（03）3239-0691　FAX：03-3239-1831

目　次

1. 総会報告
会長就任挨拶……2
第 61 回定時社員総会報告 ……3
本年度役員 ……5
2. 全国研だより
第 49 回 全国研究会議は成田で開催 ……6
第 49 回 日本経営士会全国研究会議・成田大会 参加者募集 …… 10
第 49 回 日本経営士会全国研究会議参加申込書 一般用 …… 12
3. アワード広場
ビジネス・イノベーション・アワード 2015 募集のお知らせ …… 13
4. 特集　人材育成講座
平成 26 年度の経営士総合研究所の「人材育成事業部」の活動を振り返って !! …… 14
「経営士養成講座・経営士補養成講座」等の取り組みについて …… 15
「経営士養成講座・経営士補養成講座」等の取り組みについて …… 16
第 41 期経営士養成講座開催のご案内 …… 17
第５回プロコンサルタント育成講座開催のご案内…… 18
5. トピックス
最近の「税法改正」の動き …… 19
マイナンバー制度について …… 20
「2015 年版中小企業白書」の概要 …… 21
2015 年版 小規模企業白書の概要 …… 22
Linkers の登録について …… 23
6. セミナー
活躍の機会が拡がる第３回経営支援アドバイザー養成講座（改善）を実施 …… 24
7. 委員会だより
資格審査委員会活動報告 …… 25
2015 年度第一回環境経営士フォローアップセミナー開催の報告 …… 26
脱原発下における代替エネルギーとしての電源ベストミックス（その２）…… 27
ＭＰＰ委員会だより …… 28
8. 女性経営士の会
女性経営士の会　NJK 活動報告 …… 29
9. オーシャンズ
オーシャンズ第 14 回定例会の実施 …… 30
10. 支部活動予定
支部研究会開催予定 …… 31
11. MPP
平成 26 年度 MPP 取得単位一覧表〈5 単位以上〉 …… 32
MPP 高単位取得者一覧表〈通算 30 単位以上〉 …… 32
12. 支部活動報告
ブラッシュアップ研修・定時報告会・記念講演大成功に終わる…… 34
「中小企業会計啓発・普及セミナー」の開催 …… 37
2015 年度　北関東フォーラム　開催結果 …… 38
平成 26 年度　中部支部報告会開催 …… 40
近畿支部報告会の報告 …… 41
活動報告 …… 42
2014 年度　中国支部 MPP 開催結果の報告 …… 43
13. インフォメーション …… 44

≪表紙の写真≫

6 月 29 日（月）弘済会館にて開催された

一般社団法人日本経営士会は、歴史ある経営コンサルタント団体で、「経営士」は、さまざまな分野で日々研鑽を積みながら、経営支援活動に取り組んでいます。
経営等のご相談には、各分野のプロフェッショナルが、豊富な経験と実績をもとに対応します。日本経営士会の活用と入会をお勧めします。

マネジメントコンサルタント（Management Consultant）奇数月発行
発行所：一般社団法人日本経営士会　http://www.keieishikai.com
〒 102-0084　東京都千代田区二番町 12-12　B.D.A. 二番町ビル５階
電　話：03-3239-0691　　ファックス：03-3239-1831
印刷・製本：㈱双文社

1. 総会報告

会長就任挨拶

鶴岡　義明

皆さんこんにちは。6月29日の総会前の理事会で、前高橋会長が東京支部長関連の一連の問題の責任を取って、辞任を表明し、承認されました。その後、互選で私が会長に就任し、副会長に佐藤富夫氏、専務理事はそのまま中野鐵三氏に決定致しました。

会員の皆様方には、一昨年からいわゆる東京支部長問題で大変ご迷惑をお掛けいたしました事を深くお詫び申し上げます。この事につきましては、6月にお互いが歩み寄りほぼ決着が着きましたので、今後は本部と東京支部が一体となり会員の皆様のためになる事業等を推進して行く所存です。

現在の経営士会の一番の課題は、会員減少や公益事業の実施を当初予定した期間を財政上約2年間前倒しして実施していること等により財政状態が非常に圧迫されております。この財政危機を脱却するために、①経営士（経営士補）養成講座等により会員増強を進める。②各支部で行っている収益事業のノウハウを本部を通して全国展開する。③本部の経費削減や支部の事業等を見直し、削減できる所は削減し、すぐやらなくても良い事業は先送りするなど、再度細かい所まで見直しをして、出来るだけ事業を縮小する。

今後は、各支部にお願いをして全国の商工会議所や商工会の会員の皆様に賛助会員になって頂き、それぞれフィードバックをするため、会員の皆様に仕事として応援して頂くようなシステム作りを行っていきます。また、経営革新等支援機関として多くの案件を獲得するために、去る5月30日と31日にアドバイザー養成講座を開催し23名の方たちが新たにアドバイザーになり、総勢百数十名のアドバイザーが誕生しております。アドバイザー同士の情報交換を密にし、経営士総合研究所を中心にしてアドバイザーとしての力を十分に発揮できるように致します。

内部統制の強化につきましては、①本部と支部のコミュニケーションの強化・情報の共有化②スピード感のある課題解決（会長即決）③選挙規程を含めた各種規程の見直し等を重点に行っていきます。

会員の皆様へのお願いと致しましては、今年の全国研究会議は、千葉支部の主管で10月11日・12日に成田で行います。その際に、ビジネス・イノベーション・アワードの表彰式を実施いたしますので、皆様のクライアントやお知り合いの中小企業者や個人の方でイノベーションを行って成果を上げている方たちの推薦をお願いいたします。クライアント先の成功事例を応募して頂く事によって、企業価値を高める事になったり、推薦した会員にとっても名誉なことになります。

是非、経営士全国研究会議・成田大会への出席とビジネス・イノベーション・アワードの企業等の推薦をお願いいたします。

1. 総会報告

第 61 回定時社員総会報告

第 61 回定時社員総会は 6 月 29 日（月）、東京都千代田区麹町の弘済会館において開催されました。

開催に先立ち、この 1 年に故人となられた 10 名の会員へ黙祷が捧げられました。高橋前会長の辞任の挨拶のあと、6 月 1 日に急逝された本会最高顧問町村信孝先生に哀悼の意が捧げられました。続いて鶴岡新会長の挨拶、新役員の紹介、総会成立の報告があり、所定の議案について下記のとおり決議、報告されました。

開催日時：平成 26 年 6 月 29 日（金）
14：30 ～ 16：00
開催会場：弘済会館 4F きく梅（西）
東京都千代田区麹町 5-1
TEL：03-5276-0333
出席理事：鶴岡義明会長、佐藤富夫副会長、中野鐵三専務理事、小林祥三常任理事、櫻井ミス常任理事、山口稔理事、加藤健二理事（欠席：鑄方貞元理事）
出席監事：松永準一監事、竹内一登監事

（役員・支部長席）

社員総数：社員総数 966 名（定足数：484）
出席社員数 550 名（書面議決権行使数、委任状含む）

鶴岡会長の挨拶のあと、会長指名で、中野専務理事より成立要件について定款第 19 条第 1 項の規定により、総会成立に必要な構成員の過半数以上の出席を得て、第 61 回定時社員総会は有効に成立した旨が報告された。

（挨拶する鶴岡新会長）

定款第 17 条に基づき、鶴岡義明会長が議長に就任し開会、鶴岡議長から副議長指名をしたいとの要望があり、賛成多数で佐藤富夫副会長が就任した。また、定款第 21 条第 2 項の規定により議事録署名人として千葉支部山下恭司会員と南関東支部福井浩会員が就任した。

議事の経過及び議案決議の結果

第一号議案　平成 26 年度事業報告に関す

1. 総会報告

る件

第二号議案　平成 26 年度決算承認の件
平成 26 年監査報告

鶴岡議長の指名で、事務局員から第一号議案の報告事項及び第二号議案の決議事項が議案書に基づき説明され、松永監事、竹内監事より監査報告が行われた。

審議の結果、第二号議案の承認を求めたところ原案どおり賛成多数で可決された。

第三号議案の説明に先立ち、社員より下記の動議が提案された。

（動議の内容）

理事会にて不受理になった社員提案の議題復活が提案されたが、挙手による採決の結果、議案に加えるべきではないとの数が上回ったため、動議議案は却下された。

（熱気ある会場）

但し、社員提案③「支部運営と本部運営のより円滑な一体的運営を目指し、現在、ブロック理事に暫定的に認められている支部長兼任を全理事に拡大し、支部長との兼務を認めること」に関しては、議長より次の選挙までに理事会等で検討する旨の発言があった。

第三号議案　役員信任について

鶴岡議長の指名により事務局員が説明をし、役員の採決をとった結果、全員が賛成多数で信任された。

第四号議案　平成 27 年度事業計画に関する件

第五号議案　平成 27 年度収支予算に関する件

鶴岡議長の指名により、両議案とも事務局員が議案書に基づき報告した。

以上を以って議事が終了したので、議長は閉会を宣言した。

総会終了後、同じ 4 階「椿の間」で、約 55 名の参加者を得て、懇親会を開催しました。

懇親会には本会顧問　一般財団法人経済産業調査会前理事長　野々内隆氏にご挨拶をいただき、劉台湾特別支部会員の乾杯の音頭で懇親会が始まり、西村千葉支部長より、次回全国研の内容説明があり、参加の要請を行いました。その後は久しぶりに各地より参加された会員の方々は、和やかな歓談を時間いっぱい続けられました。

（ご挨拶する野々内先生）

1. 総会報告

本年度役員

平成27年6月29日現在

■ **会　　長**
鶴岡　義明　　鶴岡コンサルタント事務所所長

■ **副　会　長**
佐藤　富夫　　弁護士法人フェニックス顧問

■ **専務理事**
中野　鐵三　　中野事務所所長

■ **常任理事**
小林　祥三　　小林経営士事務所代表

■ **常任理事**
櫻井　ミス　　櫻井税務会計事務所所長

■ **北日本ブロック理事**
山口　　稔　　株式会社経営アドバイジング・コーポレーション代表取締役

■ **中日本ブロック理事**
加藤　健二　　地域商業活性化研究所所長

■ **西日本ブロック理事**
鑄方　貞元　　（有）アクティブ経営研究所代表取締役所長

■ **監　　事**
松永　準一　　NPOマネジメント・サポートセンター中部代表理事

■ **監　　事**
竹内　一登　　東海浜松会計事務所所長

― 訃　　報 ―

本会最高顧問で衆議院議員の町村信孝先生が去る6月1日に脳梗塞にて急逝されました。

本会の最高顧問になられて1年余りでしたが、昨年の総会後の懇親会にてご挨拶された時の穏やかな表情が思い出されます。心より哀悼の意を表します。

2. 全国研だより

第 49 回　全国研究会議は成田で開催

包括テーマ：観光振興により、地域の創生へ！

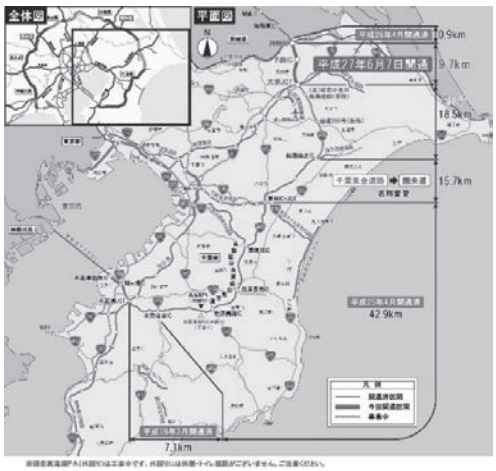
千葉支部　西村　豊

昭和 26 年（1951 年）に設立された日本経営士会は、今年で 64 年目の年を迎えますが、千葉支部は 3 年後の昭和 29 年（1954 年）5 月に発足しました。当時は「千葉県支部」と呼ばれていたそうです。

本年、日本経営士会全国研究会議の開催地となった千葉県成田市は、日本の空の玄関である「成田国際空港」、年間 1,000 万人の参拝客が訪れる「成田山新勝寺」で知られる都市です。平成 7 年（1995 年）第 29 回全国研究会会議が千葉で開催されて以来、20 年ぶりの開催となります。

1. 圏央道と東京湾アクアライン

千葉県の鉄道は、首都圏である為、東京や上野が起点となる JR 総武線、京葉線、常磐線、私鉄では京成電鉄、東京メトロ東西線、秋葉原始発のつくばエクスプレス等、かなり多くのラインが乗り入れをしていますが、殆どは東京都内の駅が起点となっており、千葉県は横断するには便利ではあるが、縦を結ぶラインが遅れて



（国土交通省ホームページより）

いることがよく分かります。道路についても、首都高から延びる京葉道路、東関東自動車道が主要な高速道路ですが、これもいわば東西を結ぶ道路であります。

そういった中、現在建設中の圏央道（首都圏中央連絡自動車道）は、神奈川県横浜市の金沢区から東京・埼玉・茨城を経由して千葉県の木更津に至る都心から 40 ㎞～ 60 ㎞の位置を環状に結ぶ幹線道路であり、これが完成することで東京湾アクアライン方面や成田国際空港、常磐道方面のアクセスが飛躍的に改善されることになります。

東京湾アクアラインについては 6 年前（平成 21 年 8 月）から料金引き下げの社会実験が始まり、結果、交通量は約 1.8 倍に増加しました。その後、平成 25 年には ETC 普通車の通行料金 800 円の継続方針も決定されています。これによって、南房総・九十九里・北総地域をはじめとした県内各地への観光客誘致を図って行くことが可能となると同時に、産業活動の活発化が見込まれており、人の往来が盛んになることで、観光資源や豊富な農林水産物を活用した事業展開も期待できると言う訳です。

圏央道については、昨年 4 月 12 日稲敷 IC ～神崎 IC 間が開通し、これまで、つくば中央 IC ～神崎 IC 間、松尾横芝 IC ～木更津 JT 間が稼働していますが、今年 6 月 7 日には神崎 IC ～大栄 IC 間の 9.7kmが開通しました。これを見込んで「発酵の里 神崎（こうざき）」には 4 月 29 日に「道の駅 神崎（こうざき）」がオープンしたばかりです。その後の開通予定に合わせ、観光関連産業は、この地域の観光資源を積極的に PR し、多様化する観光ニーズに対応できる観光施設の経営力向上や

新商品・新サービスの開発に努める必要があります。

2. 成田市の歴史

成田市は、成田山新勝寺及びその門前町を中心に展開しており、東京から 50 km 圏内、（成田国際空港は都心から 65 km 圏内）県庁所在地の千葉市から 30 km 圏内に位置します。面積は 213.84 km^2（県下 6 位）で、県土の 4.1%。市の南西部に門前町（旧市街地）と成田ニュータウンが、南東部の丘陵地帯に成田国際空港があります。これらの地域を除くと殆どが農村地帯。市の西部にある印旛沼、北辺の茨城県との県境を流れる利根川から農業用水の取り込みを行っています。

成田は古くから門前町として栄え、江戸時代から成田山新勝寺への参拝客の増加とともに飯屋、居酒屋が次第に専業化して行ったと言われています。そして、江戸との間を結ぶ成田街道や利根川の木下（きおろし）河岸、香取、佐原、芝山、九十九里などを結ぶ道が集中する交通の要衝として栄え、旅籠も 30 軒を超え、旅人で賑わったそうです。

明治期の成田は、交通網の整備に伴い、成田山新勝寺への参拝客増加の恩恵を受けて非常に活気に満ちていました。薬、酒、たばこ、飲食、料理、土産物などが参道に店を連ね、公共機関も設置される等、市域としての機能を有してきました。

そして大正時代、第一次世界大戦、第二次世界大戦による市内への被害は殆ど無く、終戦後、1953 年（昭和 28 年）に町村合併促進法が制定され、翌年の 1954 年（昭和 29 年）3 月 31 日、成田町、公津村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の 1 町 6 村が合併し、（旧）成田市が誕生しました。いみじくも、経営士会千葉県支部が発足した年でもあります。

1950 年代までは、観光と農業の振興を二大施策とした田園都市でありましたが、1960 年代に入ると市の南東部に「新東京国際空港」（現・成田国際空港）の建設が決定され、1978 年の空港開港と高度経済成長とともに、市域の経済・産業構造に多大な変化がもたらされる事になった訳です。

純農村であったこの土地が、現在では農業人口は減少し都市近郊農業型へと転換している現実。その反面、空港関連のサービス業など第三次産業が生まれ、新たな雇用が創出されてきました。今、観光面ではかつて程の活況は無くなりつつありますが、成田山新勝寺には現在も正月三が日だけで 270 万人以上、年間約 1,000 万人もの参拝客で賑わう、全国屈指の霊場の町であります。

3. 成田山新勝寺と京成電鉄の由来

日本の鉄道の歴史は、有名な神社、仏閣の存在と関わるケースが多く、江戸時代から多くの参拝客を集めていた成田山新勝寺においても例外ではなかったと言えます。明治時代に入り 1897 年（明治 30 年）に初代成田鉄道が開業して以来、多くの参拝者が利用することとなりました。1900 年代に入り電気鉄道ブームが起きる中、東京と成田を直結する電気鉄道が 3 者競願で計画されましたが、後にこの 3 者は合同し、1907 年（明治 40 年）5 月 28 日に押上－成田、佐倉町宮小路－佐倉停車場について特許を得て、1909 年（明治 42 年）6 月 30 日に現在の京成電鉄株式会社の前身である京成電気軌道株式会社が設立されました。ちなみに、京成電鉄の社名は起終点の頭文字である東京の「京」と成田の「成」に由来しているそうです。

成田山新勝寺への交通アクセスは、JR 成田駅、または京成成田駅下車徒歩 10 分（約 800m）となっています。実際、駅から表参道といわれる道を山門まで歩いてみると、両サイドにはお洒落なカフェや雑貨店が並び、門前町の風情はあまり感じられませんが、さらに進んで行き、坂にさしかかってくると歴史を感じさ

せる木造3階建てや2階建ての商家が見られます。さすがにこの辺りは江戸時代の街並みを想

（参道から見た大野屋旅館）

像させるところで、特に総門近くにある「大野屋旅館」や「一粒丸三橋薬局（いちりゅうがんみつはしやっきょく）」は国の登録有形文化財となっています。歩いていると、あちらこちらからウナギを焼く香りが漂い、ついつい寄り道をしたくなりますが、もともと、利根川と印旛沼の囲まれた成田では、旅館宿泊者にウナギ料理を提供していたという歴史があるようです。

それでは、何故もっと近くに駅を作らなかったのか。現在の京成成田駅を作る際にはその位置を巡って地元の反対運動があったようです。京成本線は1925年（大正14年）に成田電気軌道を買収しており、本来であれば、その線路を接続して新勝寺門前に近いところへ駅を設置したかったようですが、門前商店街の猛反発に合い1930年（昭和5年）4月25日に、現在の位置に設置したという逸話もあるそうです。

（今の京成成田駅）

成田山新勝寺は、当時の花形役者・初代市川團十郎による、お不動さまをテーマにした、歌舞伎の上演をしたり、江戸・深川での出開帳（でかいちょう）を行ったことから、江戸庶民から信仰されるようになった真言宗智山派の大本山で、今回の「全国研究会議　成田大会」では、特別講演や雅楽演奏、エキスカーションの受入等でご協力を頂くことになっています。

現在、京成電鉄株式会社は京成グループの中核企業であり、鉄道業を本業とし、不動産事業も展開。また、鉄道、バス、タクシーなどの交通機関を運営する京成バス、東京ベイシティ交通、北総鉄道、新京成電鉄、関東鉄道、千葉交通などの親会社でもあり、東京ディズニーランドを運営するオリエンタルランドの筆頭株主でもあります。そして今回、日本経営士会全国研究会議の開催会場となる成田市は、成田山新勝寺と共に発展した「京成電鉄株式会社」、或は日本の空の玄関と言われる成田国際空港を運営する「成田国際空港株式会社」と深い関わりがある場所でもあります。

4. 空の玄関「成田国際空港」

日本の空の表玄関として1978年（昭和53年）5月20日に開港した成田国際空港は36年が経ちます。かつて、正式名称は「新東京国際空港」と呼ばれていた事をご記憶の方も多いと思いますが、2004年、政府が100%出資で設立した成田国際空港株式会社が民営化されたことにより、改称されたそうです。今になって思えば、羽田空港（東京国際空港）との区別にもその方が分かりやすいということです。

建設当時から、地元の農民の一部から土地買収や騒音問題で反対運動に合い、開港後も反対派によるテロやゲリラ事件なども多く発生したことも記憶に新しいところですが、政府による空港建設を強行した名残で、今年3月まで、空港内への立ち入りには、身分証明書、パスポート、旅客の場合は旅券の提示を求められたり、

（第三ターミナル２階フードコート）

（第三ターミナルのトラック風通路）

空港内店舗の職員なども、社員証の提示を求められたりしており、世界でも稀な「検問制度」が実施されていました。

今回、全国研終了後のエキスカーションでは、「成田山新勝寺の精進料理体験」と組み合わせ、「滑走路の裏側で見る成田空港」と称し、成田国際空港株式会社さまのご配慮で、一般の空港見学では見ることの出来ないところを特別に見学させて頂くことになっています。一生の内、あまり体験出来ないことだと思いますので、是非ともこの機会に参加されてみては如何でしょうか。

今年、成田国際空港では４月８日に第３ターミナルを開館しました。マスコミでも取り上げられ話題になりましたが、LCC といわれる格安航空会社専用ターミナルであります。LCC 向けターミナルという性質上ラウンジが設けられていませんが、２階のフードコートが 24 時間開放されており（ただし深夜は店舗としての営業は休止）無印良品製のソファベンチが導入されていて仮眠をとることが出来るようになっています。出発・到着客が共に同ターミナルの２階を通行することと、数少ないスタッフが時間ごとに持ち場を移動してしまう LCC の特徴から、不案内で慌ただしくなりがちな利用客に向けた同空港の工夫として、陸上競技場のトラックを模した、色分けされた床の動線表示が新たに導入されています。

５年後の 2020 年、東京オリンピック・パラリンピックの開催により、成田空港を有する千葉県の各観光地にも多くの訪日外国人旅行客が訪れてくることが予想されます。自治体では、来訪の皆様に、安心して旅行して頂けるよう観光案内板の多言語化や公衆無線 LAN 環境の整備を進めるとともに、ターゲットごとに類型化した来訪者のニーズや習慣に関する情報の収集、観光事業者への観光客受入に向けた研修やマニュアル･資料の作成配布、語学ボランティアの養成確保を行うなど、県内の受入体制の充実を図る為、準備が進められています。

本年の第 49 回日本経営士会全国研究会議「成田大会」には、「ちば」の歴史と未来を、その目で確かめて頂く為にも一人でも多くの会員の皆様のご来訪をお待ちしております。

【お知らせ】

日本経営士会千葉支部　千葉経営支援センターでは、下記 URL に会場へのアクセス方法などの情報を掲載しております。ご利用ください。

http://www.keieishi-chiba.org/event/2015narita_zenkokuken.html

（資料）：ウィキペディア、国土交通省、千葉県ホームページ参照

2. 全国研だより

第49回　日本経営士会全国研究会議・成田大会
参 加 者 募 集

今年で49回目を迎える「日本経営士会全国研究会議」は千葉県成田市におきまして、「第6回イノベーション・アワード表彰式」と同時に開催されます。

千葉県成田市は、日本の空の玄関である「成田国際空港」、年間1,000万人の参拝客が訪れる「成田山新勝寺」で知られる町です。包括テーマは「観光振興により、地域の創生へ」です。今、千葉県は整備が進む首都圏中央連絡自動車道（圏央道）や、年間発着枠30万回の実現に向けて、機能強化が進む成田国際空港、そして、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定など、今、地域にとって大きな追い風が吹いております。本年、全国各地で展開される「地方創生」に向けて、各界より提言を頂き、自らの変革につなげて参りましょう。

参加申し込みは、8月30日までに所定のハガキ（本誌巻末）にてお願いいたします。

この研究会議は、会員の方だけでなく一般参加も大いに歓迎いたします。会員各位には支援先、お知り合いの方々をお誘い頂きますようお願い申し上げます。

【開催日程及び会場】

日程：平成27年10月11日（日）、12日（祝・月）

会場：ANAクラウンプラザホテル成田

〒286-0107　千葉県成田市堀之内68　　TEL：0476-33-1311　　FAX：0476-33-0244

【プログラムの概要】（都合により時間が多少前後する場合がありますがご了承ください）

10月11日（日）	13：30～　開会式、開会宣言 13：40～　基調講演　森田健作　様（千葉県知事）予定 14：20～　式典、主催者挨拶、来賓挨拶、会員表彰、貢献表彰、MPP表彰 15：30～　ビジネスイノベーション・アワード表彰式 16：30～　特別講演　岸田照泰　様（成田山新勝寺　寺務長）予定 17：30～　プレイベント（成田山新勝寺の雅楽演奏） 18：20～　交流懇親会 20：30　　終　宴
10月12日 （祝・月）	9：00～　経営士による研究論文発表（3会場） 学生研究発表と経営士によるセッション討論会（1会場） 千葉商科大学人間社会学部、千葉工業大学社会システム科学部 テーマ「地方創生」 12：00～閉会式　研究論文入賞者表彰等 12：30～昼食、エキスカーション参加者出発 13：00～解散

2. 全国研だより

【会員参加費】

	参加費	申込み方法
会　　員	20,000　円	所定の申込ハガキ（本誌巻末）にてお申込みください。 ＊懇親会に参加されない会員同伴者は、参加費無料です。
会員同伴者	14,000　円	

【一般参加者】

下記の参加費には、研究会議、講演、論文集、懇親会費を含みます。

	参加費	申 込 み 方 法
一般参加	10,000 円	次ページの参加申込書にご記入の上、FAX でお申込みください。 ＊懇親会に参加されない方は、資料代として 2,000 円です。

【宿泊申し込み】

宿泊を希望される方は、巻末のハガキに○を付けてください。但し、会員同伴者で懇親会に参加されない同伴者は宿泊のみに○を付けてください。宿泊のお申し込みは 8 月 30 日までにお願いいたします。

宿泊料金はチェックアウト時に直接ホテルにお支払ください。

部屋タイプ	料　　金	備　　考
シングル	11,500 円	何れも 10 月 12 日（月）朝食と税サービス料込
ツイン（2 名利用）	7,500 円（1 名に付）	
ツイン（1 名利用）	15,000 円	

【エキスカーション】

10 月 12 日（月）	内　　容	参　加　費
A コース （最大 40 名）	12：30 貸し切りバスでホテル前出発 成田山新勝寺参拝、精進料理体験 →滑走路の裏側で見る成田空港見学 昼食は新勝寺の坊入り（精進料理）となりますのでホテルでの昼食はとりません 終了は 16：00 予定	5,000 円 （バス代、昼食代、空港見学料込み）
B コース （最大 40 名）	国立歴史博物館見学（佐倉） ホテルでの昼食後 13：00 に貸し切りバスでホテル前出発　終了は 16：00 予定	3,000 円 （バス代、入館料込）
C コース （最大 40 名）	酒々井プレミアム・アウトレット買い物ツアー （同伴参加者対象で、午前中だけのご案内です） 貸し切りバスでホテル前 9：40 出発→ 10：00 ～ 11：40 自由行動→ 12：00 ホテル帰着	1,000 円 （往復バス代のみ）

第 49 回　日本経営士会全国研究会議参加申込書
一　般　用

下記にご記入の上、FAX（03 - 3239 - 1831）でお申し込み下さい。

（注）＊会員は本誌巻末のはがきで申込み下さい。

第 49 回　日本経営士会全国研究会議参加申込書（一般用）

平成 27 年　　月　　日

氏　名（フリガナ）		
所属企業・団体名		役職
住所　〒　　－		
電話番号		FAX 番号
同伴者	①	②
	③	④

★一般参加費用（10,000 円 / 人）　（会議のみは 2,000 円 / 人）

参加者	料　金	参加人数	参　加　者　氏　名
会議と懇親会参加	10,000 円		
会議参加のみ（資料代）	2,000 円		
合計	円	人	

★宿泊費（チェックアウト時 各自支払）

部屋タイプ	希望○	料　金	同 室 希 望 者 名
シングル		11,500 円	
ツイン（2 名利用）		7,500 円	
ツイン（1 名利用）		15,000 円	

★参加費振込先

三井住友銀行　　麹町支店　　普通　7187408　一般社団法人　日本経営士会

3. アワード広場

ビジネス・イノベーション・アワード2015 募集のお知らせ

ビジネス・イノベーション・アワードは、経営革新や社会貢献等で顕著な成果を上げた経営者、社会支援者、企業、団体、個人を表彰して、企業と地域社会の活性化を支援する目的で創設した公益目的事業です。「第6回ビジネス・イノベーション・アワード2015」を下記の要領にて募集します。自薦・他薦いずれの応募も歓迎いたします。（会員各位には支援先企業や地域企業などの推薦をお願いいたします）

〈応募・選考スケジュール〉

応募受付期間：平成27年6月1日～7月20日
選 考 審 査：8月
選考結果発表：8月下旬
表　彰　式：10月11日（日）

〈募集（表彰）の対象範囲〉

経営革新、社会貢献、地方創生等で顕著な成果をあげた、他の模範とするにたる個人、企業、団体を対象とする。具体的には、

1．経営改善や経営革新、新技術の開発に取り組み、経営の立て直し、成長を実現した。
2．新ビジネスの創造により独自の分野で起業し成果につなげた。
3．独自の人材教育や人的資源を活用して成果につなげた。
4．多様な働き方に配慮したダイバーシティーマネジメントやワークライフバランスを重視した経営に取り組み、女性の社会進出や地域活性化に貢献した。
5．医療、福祉、環境保護の分野で地域社会に貢献をした。
6．農業の産業化や少子高齢化対応で地域社会に貢献した。
7．上記に準じた取り組みや活動成果を対象とします。

〈選考審査の視点〉

上記の表彰範囲を満たすもので「理念・手法・ビジネスモデルの創造」などが優れているものであるか、また過去に「賞」や「社会的な評価」を受けた企業が引き続き、革新に挑戦しているかなど、経営コンサルタント（経営士）の視点で選考します。

〈応募対象〉

応募は、個人及び中小規模の企業、団体等とし、自薦・他薦を問いません。

〈選考方法〉

選考委員会において選考します

〈選考委員会〉

選考委員長

野々内　隆：前（一財）経済産業調査会理事長、元資源エネルギー庁長官

選考委員

墳崎　敏之：弁護士、元財務省大臣官房審議官
森谷　宜暉：産業能率大学名誉教授
塚本　　修：(一財)石炭エネルギーセンター理事長
油井　文江：（株）ゆいアソシエイツ代表、ダイバーシティ研究会代表
加藤　秀明：（株）アスカ、（株）アスカクリエート代表取締役会長
水田　廣行：日本電波塔（株）代表取締役会長

〈表彰の種類〉

＊大　賞（表彰状、トロフィー）
＊優秀賞（表彰状、トロフィー）
＊特別賞（表彰状、トロフィー）

〈応募方法〉

所定の応募・申請用紙に必要事項を記載のうえ、会社案内又は活動案内等を添えて平成27年6月1日から7月20日までにメール送信又は下記あてにご郵送下さい。応募・申請用紙は、一般社団法人日本経営士会ホームページ（www.keieishikai.com）からダウンロードしてお使いください。

（郵送先）

〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12
B.D.A. 二番町ビル5F
一般社団法人日本経営士会
「ビジネス・イノベーション・アワード事務局」
電話：03-3239-0691　FAX：03-3239-1831
E-Mail：office@keieishikai.com

4. 特集　人材育成講座

平成 26 年度の経営士総合研究所の「人材育成事業部」の活動を振り返って !!

経営士総合研究所

平成 26 年度の「人材育成事業部」の主管事業である「経営士養成講座」「プロコンサルタント育成講座」&「アドバンス･コース」についてその実績と活動状況について以下にご報告いたします。

〈講座の開講 & 受講生の状況〉

1、「経営士養成講座」＝ 2 回 / 年間を実施し、合計 21 名の受講生により講座開講した。
2、「プロコンサルタント育成講座」＝ 2 回 / 年間を実施し、合計 13 名の受講生により講座開講した。
3、「アドバンス・コース」＝ 3 名の受講生により 1 年間を通じた講座を開講した。

〈講座の概要〉

1、「経営士養成講座」は伝統ある経営士会の講座であり、本年度の第 1 回目は「第 39 期経営士養成講座」を 4 月 5 日（日）から 5 月 11 日（日）までの 11 日間の土曜日 & 日曜日に実施して 14 名の受講生により実施しました。更に本年度第 2 回目は「第 40 期経営士養成講座」を 9 月 27 日（土）から 11 月 2 日（日）までの 11 間の土曜日 & 日曜日に実施して 7 名の受講生により実施しました。今年度の養成講座の受講生は大変優秀な方々であり、今後の経営士会の活動に大いに期待しております。

2、「プロコンサルタント育成講座」は、昨年度に引き続き「第 3 回プロコンサルタント育成講座」を 6 月 7 日（土）から 7 月 12 日（土）までの間に実習企業（スカーフード工業株式会社）の訪問を含めて 13 日間の短期間の集中講座を実施し、6 名の受講生により実施致しました。更に「第 4 回プロコンサルタント育成講座」は 1 月 24 日（土）から 2 月 28 日（土）までの間に実習企業（富士精器株式会社）を 3 回訪問して 13 日間の短期間の集中講座を実施し、7 名の受講生により実施致しました。

3、アドバンス・コース」は基本的には 3 年間を通して「プロコンサルタント育成講座」を修了された方々を対象に修了時点には「プロコンサルタント開業」を目指して企業先を訪問して「プロコンサルタント育成講座」にてご提案申し上げた「提案内容」の実現を目指して毎年テーマを決めて企業側と受講生の主体による業務改善を実施する講座であり､本年度は（株）エー･アイ・エス社と主として「2S」をテーマにあげて業務改善活動を実施して企業側の経営者より改善活動の成果と従業員の「やる気」を掘り起こしたと年末のまとめ評価会で評価していただき大好評でした。

以上､昨年度の実績とその内容をご紹介いたしました。本年度も引き続き昨年度以上の活動を行ってまいります。会員の皆様のご協力､特に受講生獲得にご支援を戴きます様､宜しくお願い致します。

（報告者 = 森田喜芳）

4. 特集　人材育成講座

「経営士養成講座・経営士補養成講座」等の取り組みについて

■積極的に養成講座を開講し、新人会員促進に努められている佐藤光子東北支部長に、東北支部で主催・開催された「経営士・経営士補養成講座」の取り組みなどについて、質問させていただき、回答いただきました。

1、受講生の集客はどのような方法でしましたか。

チラシを作成し、主に役員、会員の呼びかけが一番確実です。商工会議所とか関係機関にチラシをおいても効果はあまり期待できません。

2、講座開講にあたり支部・支援センターではどのような準備や用意をしましたか。

日程の確認、講師の確認、収支の確認をきちんと決めます。

3、実際に講座をやっての感想（利点や難しい事柄など）

各講師の方々はすばらしい内容の講義です。受講生から口コミの期待が望まれます。
事前準備を徹底しますと難しいことはありません。

4、フォローアップ研修は実施していますか。

5 月 23 日に実施済み。2 回目は 9 月です。参加者の声はマネジメントに掲載。

5、27 年度に経営士養成講座、経営士補養成講座の開催を予定していますか。

6 月 27 日より盛岡、10 月 24 日より郡山において、経営士補養成講座の開催を予定しています。

6、支部で、特にインナー、アウターで取り組んでいる事について教えて下さい。

東北支部の情報通信で支部の活動をマネジメント原稿を利用して発刊しています。

7、どんな点で苦労されていますか。　また本部への要望事項があればお聞かせください。

支部あっての日本経営士会と思っています。形式の支部長会議ではなく実のある理事会・支部長会議を最低年 2 回以上開催してほしいです。そして、本部と支部長が一丸となって日本経営士会を再構築していくのが急務と思います。支部はそれぞれがんばっています。全国にすばらしい会員がおります。日本経営士会の為に智恵を出し会いましょう。本部はすばらしい智恵を取りいれて下さい。

8、その他何か感想があればお聞かせ下さい。

今、日本経営士会は変革の時です。次世代へつなぐ責任があります。私たちは経営のプロです。自ら行動で示して行きましょう。

4. 特集　人材育成講座

「経営士養成講座・経営士補養成講座」等の取り組みについて

■積極的に養成講座を開講し、新人会員促進に努められている南関東支部　近藤安弘 山梨支援センター長に、山梨支援センターで主催・開催された「経営士・経営士補養成講座」の取り組などについて、質問させていただき、回答いただきました。

1、受講生の集客はどのような方法でしましたか。

会計啓発普及セミナー・公開 MPP・公開セミナー・就職支援セミナー等に参加された方の中から経営士として相応しい方を候補者としてお誘いしています。

2、講座開講にあたり支部・支援センターではどのような準備や用意をしましたか。

講師は専門性を活かした最適配置を考慮しています。あらかじめ研修メニューをパターン別に作成していますので、最適な組み合わせをしています。

3、実際に講座をやっての感想（利点や難しい事柄など）

タイムリーな題材の提供に心掛け、特に変化の激しい、「情報管理」や「環境経営」等の科目は都度見直しをかけ、リニューアルをしています。「MPP」は極力新しいケースを選定しています。

4、フォローアップ研修は実施していますか。

研究会での活動をお奨めし、マネジメント研究会や MPP 研究会で会員の力量アップを図っています。新入会員には各自が持つ専門性をテーマとした発表の機会を設けています。

5、27 年度に経営士養成講座、経営士補養成講座の開催を予定していますか。

現在は即戦力のある方を推薦という形で進めていますので、開催予定はありません。

6、支部で、特にインナー、アウターで取り組んでいる事について教えて下さい。

「π字型人材育成」を継続的に取り組んでいます。これはマネジメント能力の向上と専門性を２つ以上持つことを狙いに、会員の能力向上を図る取り組みです。

また各省庁や県が企画する事業（地域人づくり事業・雇用改善推進事業等）を受託して実践的な取り組みをしています。

その他には MPP の会員外普及を積極的に進めています。「創る」･「売る」･「育てる」をキーワードに新ケース創りや受注活動、リーダー育成を一貫して取り組んでいます。この中では特にリーダーのファシリテーション力の向上を目指しています。

7、どんな点で苦労されていますか。また本部への要望事項があればお聞かせください。

魅力ある会づくりとして収益性事業への展開は大切です。各省庁、県の企画事業がスムーズに受託できるよう手続き面で、ご協力をお願いします。

8、その他何か感想があればお聞かせ下さい。

日本経営士会の特長は「共創」できることです。つまり会員が共にマネジメント力や専門性を結集して新たな大きな事業に取り組むことができる要素を持っていることです。その要素を活かすのはリーダーの大きな役割ともいえます。

4. 特集　人材育成講座

第 41 期経営士養成講座開催のご案内

経営士総合研究所

一般社団法人日本経営士会は『宇宙な目のコンサルになる』をテーマにして第 41 期経営士養成講座を開講させていただきます。「大局が俯瞰できるから小局に的確な対応ができる」をモットーにしてコンサルタント養成を目指します。ご参加いただければ幸甚でございます。なお、前回から講座受講者のご希望に沿った「リクエスト特別講座」を設けております。又、一般受講者及び経営士の方に対し「補習講座」申込み受付も行っております。是非、ご参加下さい。また、受講者募集のご協力も宜しくお願いいたします。

＜第 41 期経営士養成講座概要＞

受講対象者

大学卒業程度の学識と実務経験 5 年以上を有し、次のいづれかに該当する方

① 経営コンサルタントを目指す人

② 企業に就労されていて、経営や管理リーダーを目指している人

③ 企業の経営者、後継者、経営幹部候補者

研修期間

① 開催期間：2015 年 9 月 5 日（土）～ 10 月 10 日（日）

② 開催日数：11 日間（土曜日・日曜日中心に開催）

研修会場

＊ LEN 貸し会議室（飯田橋）：ＬＥＮ貸し会議室

＊アピアン四谷：（スクワール麹町 2F レストラン）

＊ホームページ参照下さい　スクワール麹町　アピアン＆サブニール

受講申込

① 申込方法：WEB または FAX にてお申込みください

② 募集人員：20 名（個別講座については 10 名 / 科目毎）

③ 申し込み締切：2015 年 8 月 23 日（日）（定員になり次第締め切ります）

④ 事前説明：別途ご案内します。（2015 年 9 月 5 日　土曜日を予定）

⑤ 受講料：150,000 円（消費税含む）＊分割の場合は 75,000 円× 2 回（消費税含む）

＊個別受講料は　15,000 円 / 日（消費税含む）

＊講座内容など詳細は HP をご覧いただくか、もしくは、事務局へお問い合わせ下さい。

4．特集　人材育成講座

第5回プロコンサルタント育成講座開催のご案内

経営士総合研究所

内外の経営環境の変化スピードは速く、中小企業の経営課題は以前よりもさらに複雑化されており、その経営力強化は日本経済における喫緊の課題となっております。このような状況において一般社団法人日本経営士会は有能なプロ・コンサルタントを育成し、自立開業の支援をすることもめざし本講座を設けました。さらに経営者（経営幹部）として自社の改革・改善する力が飛躍的に向上します。本講座の特長として

1．実際の現場でコンサルティングを演習します

2．具体策の策定、実行を支援する 能力強化に重点を置きます

3．成果実現の能力を強化します

〈第５回プロコンサルタント育成講座概要〉

受講対象者

大学卒業程度の学識と実務経験５年以上を有し、次のいづれかに該当する方

①　経営コンサルタントを目指す人

②　企業に就労されていて、経営や管理リーダーを目指している人

③　企業の経営者、後継者、経営幹部候補者

研 修 期 間

1．開催期間：2015 年 11 月 7 日（土）～ 12 月 5 日（土）

2．開催日数：12 日間（土曜日・日曜日中心に開催）

研 修 会 場

1．研修場所：LEN 貸し会議室（飯田橋）　　LEN 貸し会議室　※ホームページ参照下さい。

2．実　　習：実習先企業（別途連絡）

3．最 終 日：アピアン四谷（スクワール麹町２Ｆ　レストラン）

※ホームページ参照下さい。　　スクワール麹町　アピアン＆サブニール

受 講 申 込

1．申込方法：WEB 又は FAX にてお申込みください。

2．募集人員：10 名（申込順、実習企業受け入れの制約等により申し込が 10 名になり次第締切となります）

3．申込締切：2015 年 10 月 26（月）定員になり次第締め切ります。

4．事前説明：別途ご案内致します。

5．受 講 料：150,000 円（消費税含む）・分割の場合 75,000 円× 2 回（消費税含む）

＊講座内容など詳細は HP をご覧いただくか、もしくは、事務局へお問い合わせ下さい。

5. トピックス

最近の「税法改正」の動き

櫻井ミス（税理士・経営士）

経営士の活動領域は、企業経営におけるコンサルテーション（consultation）における経営計画の作成、経営改善指導など多岐にわたり、経営者は、経営成績の向上、従業員の待遇、顧客満足の達成、株主に対する説明責任及び法人税等の納税義務の履行等の経営責任を負っている。税制については、公平・中立・簡素を旨として、毎年、税法の改正が行われている。税法そのものは複雑な内容となっている。

事業経営者にとって、個人事業者の場合は、事業所得に対し課税となり、所得税法が適用される。法人の場合は、税引き後利益に課税され、法人税法が適用される。そのほか、租税特別措置法が制定されている。なお平成27年度、国税通則法の改正があり、平成27年4月1日以後に行う前回の調査の終了後に行う再調査について適用され、再調査の前提となる前回の調査の範囲を実地の調査に限ることとされた。以下、平成27年度の税法改正について簡単に説明します。

■所得税法の改正

「未成年者口座内の少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税措置（ジュニアNISA）の創設」［NISAの拡充］28.1.1 ～

■贈与税法・相続税法

贈与税は、相続税の補完税としての役割を担っている。結婚・子育て資金の支払いに充てるために、その直径尊属が金融機関に信託等をした場合、その受贈者一人につき1,000万円、結婚費用は300万円までは贈与税を課さない（平成27年4月1日から平成31年3月31日までに拠出されるもの）。

相続税法　相続税の基礎控除額は、平成27年1月1日以降の相続等から「3,000万円＋（600万円×法定相続人の数）」と改正された。

個人生活において、ライフプランの作成による家族の対話が望まれる。

■法人税法　中小企業者等の法人税の特例

法人税の税率が23.9%（改正前25.5%）に引き下げられた（法66、81の12、143）。また、中小企業者等の法人税率の特例について、適用期限が平成29年3月31日まで2年延長された（措法42の3の2、68の8）。

雇用者給与等の支給額が増加した場合の特別税額控除の改正（措置法42の12の4①②五）中小企業者等 . 平成28年4月1日以後開始事業年度　100分の3以上

■国外取引と消費税

消費税は、事業者が国内において事業として課税取引を行ったとき、課税される。国外取引については、消費税は課税されない（不課税）。国内取引か国外取引かの判定は、原則として資産の譲渡又は貸付が行われたときにおいてその資産が所在していた場所、役務の提供については、原則、その役務の提供が行われた場所で、国内外を判定する。

●憲法と税法

法治国家としてすべての法令は、憲法の規定に従う。国民の意思の反映として住民の意思に従う。最近の動向として「マイナンバー法」が浮上している。あわせて考察する。憲法14条①法の下の平等、19条思想・良心の自由、25条①国民の生存権②国の社会保障的義務、29条財産権、30条納税の義務、32条裁判を受ける権利、84条租税法律主義、97条基本的人権の本質、など憲法の精神を再確認したい。

マイナンバー制度　社会保障・税番号制度として、平成27年10月から住民票を有するすべての方の住所あてにマイナンバーの通知が始まる。公正・公平な社会の実現を目指し、行政の効率化を図るとしている。

公正・明瞭な社会の実現に向け、住民参加の社会の実現を期したい。　以上

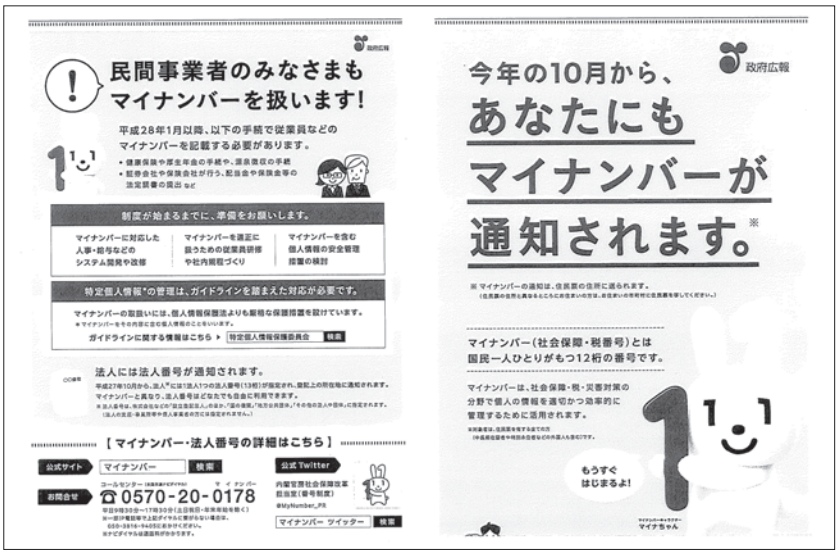
5. トピックス

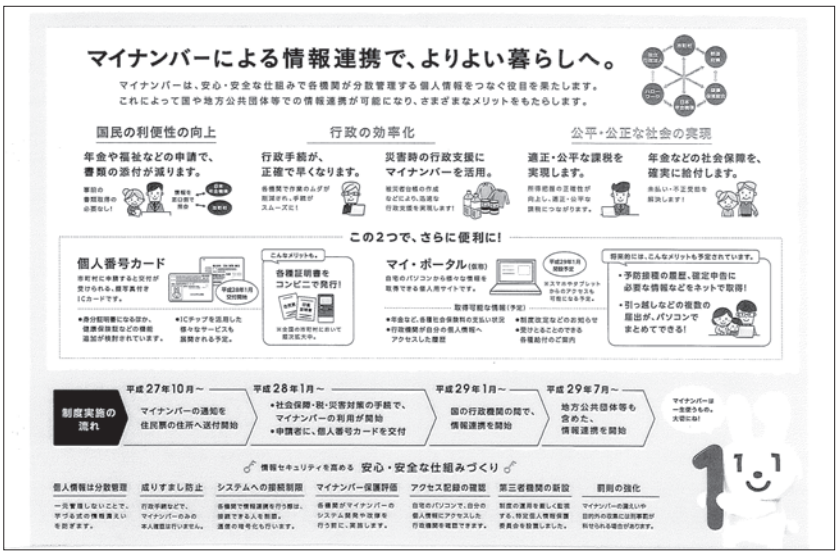
マイナンバー制度について

マイナンバー（社会保障･税番号）とは、国民一人ひとりがもつ 12 桁の番号です。社会保障分野･税分野・災害対策分野について、個人情報を適切かつ効果的に管理するために活用されます。マイナンバーの通知は、平成 27 年 10 月以降、住民票の住所に送付されます。

参考法令「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」（平成二十五年五月三十一日法律第二十七号）最終改正（平成二十七年三月三十一日法律第九号）及び「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」（平成 15. 5. 30 法 58）

（参考までに内閣府広報の表を掲載します）





（内閣官房公式ホームページより）

＊内閣府公式サイト マイナンバー で、検索して頂くと、詳細が公開されています。
電話での問い合わせは 0570-20-0178 です。

5. トピックス

「2015年版中小企業白書」の概要

経営士　川崎隆夫

中小企業白書は、中小企業基本法第十一条に基づく年次報告書（法定白書）であり、2015年版で52回目となる。なお本年は、中小企業白書とは別に小規模企業白書が初めて発刊され、小規模事業者を取り巻く経済状況･事業環境や小規模事業者の動向等については、小規模企業白書で詳しく扱っている点が、昨年までと異なる点である。

2015年版中小企業白書は、以下の3部構成となっている。

第1部　2014年度の中小企業・小規模事業者の動向
　第1章　我が国経済の動向
　第2章　中小企業・小規模事業者の動向
　第3章　中小企業・小規模事業者を取り巻く環境
第2部　中小企業・小規模事業者のさらなる飛躍
　第1章　中小企業・小規模事業者のイノベーションと販路開拓
　第2章　中小企業・小規模事業者における人材の確保・育成
第3部　「地域」を考える ― 自らの変化と特性に向き合う
　第1章　地域活性化への具体的取り組み
　第2章　経済・社会構造の変化を踏まえた地域の対応

主な内容は、以下の通りである。

◆第1部　2014年度の中小企業・小規模事業者の動向

2014年度の日本経済は、アベノミクス効果が現れ、景気が緩やかな回復基調をたどる中で、設備投資の持ち直しや有効求人倍率の上昇など、企業行動の活発化が顕著であったが、4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要とその反動等の影響などにより、個人消費を中心に弱い動きがみられたことも紹介している。また、円安の影響などにより中小企業・小規模事業者の原材料・仕入れ単価の上昇等が利益を圧迫し、中小企業・小規模事業者の採算が厳しい状況にあることや、大企業と中小企業・小規模事業者間の相互依存関係の希薄化により中小企業・小規模事業者は自ら需要を獲得する必要に迫られていること、特に小規模企業の間では収益力の格差が顕著になっていること、などを明らかにしている。

◆第2部　中小企業・小規模事業者のさらなる飛躍

第2部では、中小企業・小規模事業者の「イノベーション・販路開拓」「人材の確保・育成」を取り上げている。イノベーション・販路開拓については、商圏が広い事業者ほど積極的に取り組んでいる実態と、商圏が狭い企業も同様の取組を行うことで、利益を伸ばす可能性があることを明らかにしている。人材については、中小企業・小規模事業者においても、研究開発、営業、IT等の分野の専門人材が不足していることや、地域ぐるみで専門人材の確保・育成に取り組んでいる事例を紹介している。

◆第3部　「地域」を考える ― 自らの変化と特性に向き合う

第3部では、中小企業・小規模事業者が根ざす「地域」について取りあげ、小規模小売店数や製造業事業所数が減少している一方で、医療・福祉の事業所数が増加しているなど、地域の雇用を支える産業の多様化の進行や、地域資源の活用、地域社会の課題の解決を通じた地域活性化の取組みなどを紹介している。

またＩＴの活用による地域の構造分析に関する事例や、経済産業省で開発された「地域経済分析システム」などについても、解説を行っている。　以上

5. トピックス

2015年版　小規模企業白書の概要

経営士　宮髙　信之

2015年の中小企業白書は、小規模企業の部分が独立しました。ここでは小規模企業白書の内容について簡単にご紹介いたします。

まず、小規模企業の定義は、従業員が20人以下の製造業その他、もしくは従業員が5人以下の卸売業・サービス業・小売業を示します。

白書が小規模企業の部分を分離独立した理由は、企業数386.4万者のうち、小規模企業が334.3万者と9割弱も占めていること、また従業員も4,614万人のうち、1,192万人と4分の一を占めていること、そして個人事業主が多いにもかかわらず何百人も従業員のいる法人格をもつ中小企業と一括りにして論じるにはやはり無理があると考えた為のようです。

■第1部のポイント

・地域、人口減少、高齢化～首都圏、名古屋、大阪、福岡と沖縄で増加、それ以外は減少
・小規模企業者の商圏～狭い
・小規模企業者の経済社会現象の変化～企業数減少、経営者高齢化シフト
・国際化～製造業の国内投資減少
・IT化～情報端末普及に対して出遅れ
・業態分析～「卸､小売り」「宿泊業､飲食サービス業」「建設業」「製造業」「生活関連サービス」「不動産、物品賃貸業」で8割を超える
・常用雇用者数～45%が常用雇用者を雇わずに経営
・業態分析の詳細～特に多いものは、ラーメン店、理容室美容室、貸間業、療術業、教養技能教室
・小規模企業者334万者のうち、個人事業主206万者、法人128万者
・小規模企業者の製造業で中規模事業者よりシェアが高いもの～「金属製品製造業」「繊維工業」「印刷・印刷関連業」「家具、装備製造業」
・小規模企業者の製造業で中規模事業者よりシェアが低いもの～「食料品製造業」「プラスチック製品製造業」「電気機械器具製造業」
・小規模企業者の従業員構成等～親族依存度が高い、手取り300万円以下が6割強、最終学歴が高校
・小規模企業者の従業員採用手段～知人紹介、個人的勧誘が多い
・事業承継に関する意識～厳しい経営環境下で事業を引き継ぐことへの躊躇 / 事業を引き継いだ後の、収入、生活面での不安
・施策情報の入手方法～日常的なやり取り / 業界や地域の経営者等の会合 / 施策のチラシパンフレット
・小規模企業者の動向～小規模企業者の事業者数および事業所数は、1986年までは増加傾向だったが、それ以降はすべての業種が減少に転じている
・それに関する不調要因～マクロ的には、経済の成長停滞、消費者の購買意欲、販売単価の状況に左右、個別要因では、ニーズに対応した商品サービスを提供できていないため
・効果的な販路開拓～約半分は何もやっていない、取り組んでいるものは、対面販売における顧客への説明コミュニケーションの充実 / 新規顧客への直接訪問売り込み、営業能力の高い人材の新規採用
・経営計画の策定について～小規模企業者持続化補助金を受けるために初めて経営計画を策定したのが約6割

■第2部　小規模企業者の挑戦

事例が42に掲載してありますので、右のQRコードを開き、ご覧いただき参考にして下さい。

以上ですが、ご質問があればご一報下さい。

5. トピックス

Linkers の登録について

経営士　宮髙　信之

本年 3 月に Linkers 登録コーディネータになりましたので、Linkers（リンカーズ）https://linkers.net/ についてご紹介いたします。

■　概要

Linkers（リンカーズ）は、全国 1000 名以上の登録コーディネーターを有しており、2 次データ収集ではわからないものを、Linkers 登録コーディネータの知見を使ってパートナー企業をアナログ的に探し当てる仕組みを提供しています。

コーディネータに登録される際、Linkers（リンカーズ）と守秘義務契約 NDA を締結し、その上で募集案件に関する詳細な内容や発注企業情報の開示を受けます。

募集案件に当てはまる課題解決能力の高い中小企業を知っていた場合には、推薦書類を作成して応募するまでがコーディネータの作業となります。

■　経営士がコーディネータに応募するとき注意すべき点

①　コーディネータに登録しても残念ながらお金にならない・・・

募集案件に対して推薦書類を作成して応募する訳ですが、entry して 1000point 付与され、その後のコンペに勝ち抜けばさらに point が付与されますが、あくまでも point です。現金等ではありません。

②　安易に推薦すると大事なクライアント企業に汚点を付けることに・・・

最近の募集案件の内容を分析してみたところ、金型メッキ加工など大田区に多く点在する金属加工業は全くなく、非常に先進的で細かい技術内容のものが多く（2 次バッテリーの新型樹脂ケース、アロマディフューザーの加温 etc）相当程度ニッチな研究に長年取り組んできた成果がなければ対応できないものが多いです。また、ひとつの案件に対してコーディネータから 20 ～ 50 社の推薦が出てきますから、最後まで勝ち抜くのは容易ではありません。

1 次、2 次、3 次、4 次、5 次審査で落ちれば、大事なクライアント企業に「負け」の実績を残すことになります。1 度くらいなら、勉強になったと社長に言っていただけるかもしれませんが、何度も何度も落ちれば、推薦するメリットが理解されなくなると思います。

③　Linkers は自身の活動を「日本最大級のモノづくり系クラウドソーシング」と述べていますが、下の資料やホームページを見ていただければわかるように、コーディネータの所属団体は、行政の産業振興課やその外郭団体、及び大学や公的研究機関が多く、実際に製造業に長年勤務し、モノづくりを体得している人は少ないです。

以上ですが、ご質問があればご一報ください。

6. セミナー

活躍の機会が拡がる第３回経営支援アドバイザー養成講座（改善）を実施

5月30日､31日に23名の受講者を迎えて「経営支援アドバイザー養成講座（改善）」を行いました。九州や東北など遠方からも熱心な経営士が参加され、熱気溢れる講座となりました。

講座の目的は、経営改善計画書作成や支援方法を学び中小企業・小規模事業者の支援に役立てるというものです。経営改善計画とは、借入金の返済負担等、財務上の問題を抱えている中小企業・小規模事業者が金融機関からの金融支援を受けるための計画書です。

講座の内容

「一般社団法人日本経営士会の経営改善計画の取り組み方について」
「経営改善計画作成の基礎知識」
「認定支援機関の役割」
「企業診断に必要な財務分析のポイントと実務」

ゲスト講師として３名の専門家に下記の内容につき講演をお願いしました。
中小企業再生支援全国本部　大庭正好様の「経営改善計画策定にあたってのポイント」
経営標準化機構株式会社　宮沢悟様の「これからの認定支援機関に求められること」
弁護士　江木晋様の「経営改善計画の実行に対する法務面での注意点」

認定支援機関

日本経営士会は、経営革新等支援機関（認定支援機関）として、中小企業・小規模事業者の多様化・複雑化する経営課題に対して事業計画策定支援を通じて専門性の高い支援を行うため税務、金融、財務に関する専門知識を有しているとして国から認定されています。

経営支援アドバイザーは、日本経営士会に与えられた認定支援機関のルールに基づき、『経営支援アドバイザー』の登録を受けた正会員のみが活動できるものです。支援企業や金融機関等からの信頼が高まると共に、認定支援機関が関与しないと認められない「経営改善計画書策定支援」「ものづくり補助金等各種補助金申請支援」等にも携わることが出来ます。

講座の効果

実際の改善計画進行中の実例を含めた実践的な内容であったため、今後の企業支援に役立つという受講者の声が多く寄せられました。

本講座の内容は「経営改善計画」のみならず、一般の経営支援に役立つ内容が数多く盛り込まれていました。また、ひとりでは対応しきれない「経営改善計画策定支援」などは、経営支援アドバイザーの仲間でチームを組んで実施することで対応しやすくなります。経営支援アドバイザーは120人余となり、支部や近郊のアドバイザーとの連携の効果が期待されます。　（豊田賢治）

7. 委員会だより

資格審査委員会活動報告

資格審査委員会委員長　　西　満幸

資格審査委員会は経営士試験や経営士補試験などの資格試験に関するものと資格制度に関するものが主要な所管事項です。

1　資格試験について

(1) 経営士試験や経営士補試験について

この試験は、日本経営士会の「経営士」及び「経営士補」として必要な高度の専門知識、経営支援能力並びに適性の判定を目的とします。「経営士」、「経営士補」試験は年２回（5 月、11 月）に実施しています。

(2) 経営士試験

試験の種類は、1. 筆記試験、2. 面接試験、3. 経歴審査です。筆記試験は受験者全員に課す共通試験（2 時間）と専門試験（3 時間）からなります。専門試験は経営・生産・販売・人事・財務・情報の６つの専門科目より２科目を選択し解答します。詳細については、本協会ホームページ / 入会のご案内 / 資格取得方法（「経営士」及び「経営士補」資格試験要領）をご覧ください（http://www.keieishikai.com/admission/shikaku.html）。

資格審査委員会は担当理事小林祥三常任理事のもと下記の委員で構成しています。共通（西満幸）、経営（山田一）、生産（山本忠）、販売（畑和浩）、人事（松尾實）、財務（春原和夫）、情報（畑和浩）。

(3) 課　題

資格試験は会員の増強策として重要です。しかしながら最近受験者が少ないことが大きな課題です。基本的には広報が不足していることが考えられます。試験制度、試験の内容など本会誌「マネジメントコンサルタント」を活用した広報、マスコミに対する広報宣伝等改善を行って、受験者増大策の推進を図っていきたいと考えております。また、専門科目の追加の必要性の有無なども検討が必要と考えます。

2　資格と会員区分等

資格については「資格に関する規程」、「会員区分及び会費に関する規程」などがあります。これらの規程間の整合性、時代に合わせた見直しなど検討の余地があると考えます。たとえば、会員は「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」では正会員＝法律上の社員とあり、これらとの整合性、経営士養成講座修了生や推薦入会者の資格付与などについても検討の余地があると考えます。さらに、用語の統一、例えば経営管理→経営管理･経営支援、スペシャリスト→プロフェッショナル、販売→マーケッティングなどの用語も時代に合わせて適宜見直しが必要と考えます。

資格審査委員会は昨年９月に新委員で発足しました。資格審査委員会は、会員に求められる「高度の専門知識、経営支援能力並びに適性」などの判定、それを補完する「資格制度」などの検討を進めてまいります。これらを通じて、会員の増強、ひいては日本経営士会の発展を目指して委員会活動を行います。会員皆様の建設的で忌憚のない意見を承れば幸いです。

以　上

7. 委員会だより

2015年度第一回環境経営士フォローアップセミナー開催の報告

環境社会創出委員会

去る6月20日(金)に、2015年度第一回環境経営士フォローアップセミナーを東京四ツ谷にて開催致しました。受講生は関東を中心に、東北、中部、岡山、香川など遠方からもご参加いただき、環境社会創出委員も含めて21名にて実施されました。

当日は、環境社会創出委員会にて作成した中小企業のケーススタディ事例に基づき、環境経営士と企業に分かれて、環境経営士がコンパクトエコシステム（CES）の導入提案と、導入が決まった後のCESの取組支援を企業に対して行うという実践的なロールプレイングを行いました。ロールプレイングを実施する前に、環境社会創出委員会委員よりロールプレイングのヒントに繋がる内容として、実際のCES導入契約プロセスや、CESの取組支援事例の発表を前半に行いました。

CESの提案については、環境経営士が企業のトップと役員に対して経営課題をヒアリングし、CESの導入・取組を通じてPDCAサイクルに則った経営システムの構築や、情報共有による業務改善、CES担当者の育成、社会貢献の取組など、経営上の様々な効果を受講者の皆さんに考えていただき、実際にその場で提案をしていただきました。当日は本番さながらの、大変白熱したロールプレイングとなりました。

今回の学びと、当日いただきました皆様からの感想・ご意見を基に、当委員会では今後より環境経営士のスキル向上へと繋がるフォローアップセミナーを企画してまいります。

最後に、この場を借りて遠方よりお越しいただきました環境経営士の皆様に心より御礼申し上げます。

〈参考：フォローアップセミナーカリキュラム〉

コマ	テーマ	内　容
A	開講挨拶	
B	CES取組状況の説明	・CES登録状況と普及活動について
C	CESのアプローチ方法について（1）	・CES導入契約のプロセス
D	CESのアプローチ方法について（2）	・工業団地普及活動の実施事例と今後の進め方
E	CESの導入支援について	・CES導入後の推進方法について
F	ロールプレイング説明	・進行方法説明 ・講義の振り返り、役割分担
G	K社事例に基づくロールプレイング 1. K社へのCES提案 2. K社事務局へのCES導入支援	・各グループ内で2組に分かれる ・「環境経営士」と「K社」になり、左記2テーマでロールプレイング実施
H	発表内容の纏め	・発表内容をグループで纏め発表者を決定
I	発　表	・各グループから取組成果、感想等発表
J	総評、アンケート記入	
K	閉　会	

7. 委員会だより

脱原発下における代替エネルギーとしての電源ベストミックス（その2）

環境社会創出委員会

1．G7サミットにおけるわが国温暖効果ガス削減目標値の表明とその内情

この件に関する削減目標値は、2015年12月末の国連気候変動枠組締約国会議COP21の発表までに先立って、本年6月8日ドイツで開催の先進7ヶ国（G7）首脳国会議で安倍首相が公表されました。即ち「2030年度までに2013年基準の26%減（米国は既に今年はじめて同比18～28%減を発表）」の内容です。これは1990年基準では18%減で、EU（40%減発表）よりも少ない削減率になっています。

今回のG7では、全世界長期の2050年度におけるCO_2削減目標も、IPCCの新規報告の数値を踏襲して前回より下げて2010年度比40～70%を全会一致で決まっています。

G7国先進国のみで厳しい削減規制を実施しても、全世界の排出量の3割であることから達成は容易ではありません。今後は新興途上国等や全諸国の参入と、G7先進国が自国の削減だけでなく、資金や技術の一層の提供を世界全体に貢献していくべきであります。今回やっとCOP21に米国の参入や中国やインドの参入期待があることは、若干の明るい話題となるでしょう。

2．原発代替エネルギー電源としての選択条件の可否

今後わが国において脱原発方向を推進しようとするなら、原発に代替できるエネルギーの選択や革新技術の推進が、喫緊の施策となるでしょう。その原発エネルギーに代替する現状における3主要のエネルギー電源の適否を検討しますと、

① 化石燃料エネルギー電源（石炭、LNG、石油）の原発代替：CO_2 排出多、枯渇問題で 不適
- 石炭の電源：コスト廉価、ベースロード電源可なるも、CO_2 粉じん排出大、大処理施設必要
- 石油、LNG：コスト燃料費高い、ピーク・ミドル対応、CO_2 粉じん排出小、軽処理施設必要

② 再生可能エネルギー電源（太陽光、風力、水力、バイオ）の原発代替：低効率不安定 不適
- 太陽光風力発電：ピーク電源、天候昼夜の制限、転換効率低、買取価格大、電力・電気代高騰

③ 再生可能エネルギー（地熱温水源泉、地熱マグマ）の原発代替：CO_2 排出・燃料0、熱段階利用 可
- 地熱温水源泉電源：一定連続性ベースロード電源、設置に法規制測定・掘削に費用期間要
- 地熱マグマ電源：一定連続性ベースロード電源、深地核の掘削開発可となれば任意場所

この事例と根拠は、既に3～40年に亘って無事に稼動しています。全国18か所の地熱温水系発電所は全発電量は約56万kwに過ぎず、最大原発の1基分100万kw弱しかなりません。しかし今回、東北3県においての地熱温水発電所では3.11災害の際にも、異常なく自動停止し、問題なく再稼動し運転を続けています。火山国であるわが国では、2030～3300万kw（全て開発すれば、100万kw原発20～30基分のポテンシャルあり）の潜在発電熱量に恵まれながら（それは米国、インドネシアに次いで世界第3位でありながら）その活用率は2～1.6%しかなく世界の8位に留まっています。その設置場所は、殆ど火山地帯の国立公園近辺であって、環境省の厳しい公園法の規制があって制限されてきました。次回は、更に地熱マグマ電源の原発代替との有効可能性に付いて列挙します。

以　上

（樋口　藤太郎）

7. 委員会だより

MPP委員会だより

大野　喜章

1．委員会メンバー

MPP 委員会は平成 27 年度よりメンバーが替わりました。

担当理事　櫻井ミス、委員長　大野喜章、委員　上野延城、委員　塚本裕宥、委員　青樹道弘、委員　豊田賢治、相談役　平山道雄　の以上 7 名で構成されています。

2．平成 27 年度の主な活動

1）MPP ケース集の改訂

各支部、県会の MPP 関係者に配布されている MPP ケース集 CDROM は平成 20 年に作成されました。使いやすくはなっていますが、ミスが各所にあり、修正できないまま時間が経過してしまいました。また、新しく作成されたケースも掲載されていませんでした。現在、約 200 ケースが登録されています。それらの見直しを行い、また、新しく作成されたケースを追加し、皆様がより使いやすくなるように改訂版を作成します。

現在、そのまま使用できるケース、改版を必要とするケース、会員外を対象に行う MPP に使用できるケース等、分類作業を行っているところです。

2）MPP リーダーマニュアルの改訂

MPP リーダー資格を取得する研修会で使用する「リーダーマニュアル」は平成 10 年に改訂されたものを、現在も使用しています。前々年度から改訂版の作成を行い発行までもう一息のところまで来ています。今年度中に完了し改訂版を発行する予定です。

3）MPP リーダー養成研修、リーダー登録更新研修のサポート

MPP リーダー養成研修、リーダー登録更新研修は各支部、県会主導で行うことになっています。各支部、県会から要請があれば支援させていただきます。

現在、MPP 委員主導で以下のリーダー養成研修、登録更新研修を予定しています。お志ある方はふるってご参加ください。

東京・埼玉（9 月　経営士会本部会議室）、群馬（11 月）

詳細は別途連絡いたします。

4）MPP 事業部との連携

MPP の会員外への普及・収益事業に積極的に支援連携します。

新しいケースの作成・登録、会員外への普及のための MPP リーダー養成等。

3．MPP は有効な研修ツール

MPP はケースメソッド方式のチーム研究です。ケースメソッドはハーバード大学ビジネススクール設立当初からの教育プログラムの一部で、ケースの個人研究、チーム討議、教官のリードによる全員討議と時間をかけて進行します。

MPP は、日本経営士会が会員のための研修ツールとして開発したもので、3 時間で、現状分析、問題発見、意思決定、まとめ、評価を行います。チーム討議を通して参加者相互の能力向上を図ることができます。自己研鑽を効果的に行うことができます。

MPP で使用するケースは、経営士会会員が作成した約 200 のオリジナルのケースがあります。これらのケースは、縦軸として生産性、戦略、企業再建、教育、その他の 5 つの企業経営部門に分け、横軸として総合経営、生産、研究開発、販売、人事、財務、事務、情報の 8 つの管理部門に分け分類しています。

研修会の目的に応じてふさわしいケースを選択して使用します。

MPP のような方式は、企業内研修で多少の方式の差はあるものの広く使われています。会員の皆様が企業支援を行うときや、研修を頼まれたときなどに有効に活用することができます。

MPP は各支部、県会主催で開催されています。皆様のお近くで開催されるときは是非ご参加ください。

MPP 委員一同、皆様のご期待に沿えるよう努力いたします。ご意見、ご要望がありましたらご一報ください。

以　上

女性経営士の会　NJK 活動報告

2015 年夏の NJK 活動お知らせ

7 月 17 日（金曜）14:00 ～ NJK シンポジウム
知る・語る・組む　の 3 部構成

〈第一部〉
　循環型環境社会実現をビジネスモデルとして取り組む（一社）日本リ・ファッション協会代表理事　鈴木純子氏による講演
〈第二部〉
　講演者と環境、CSR に取り組む企業、そして初の取り組み環境社会創出委員会メンバー他によるパネルディスカッション
〈第三部〉
参加者との懇親会

　会場は大手町の日本ビル 6 階 662 区
　2016 年 3 月末までの期間限定のオープンスペース 3 × 3Labo（さんさんらぼ）です。CSV ビジネスの創発拠点として大手町、丸の内、有楽町エリアの持続的可能なまちづくりを推進するエコッツェリア協会（一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会）が業界業種の垣根を越えた交流・活動拠点として開設し注目されています。
http://www.ecozzeria.jp/nipponbldg33/events.htm（参考 URL）

　丸の内朝大学開催などでも有名な会場で、入り口では動く地球儀が出迎えてくれますます。

新しい取り組み
新しいタグにご期待ください。

8 月 29 日（土曜）13：30 ～
女性リーダーによる MPP in 山形

　東北支部と NJK のコラボ企画
　今年も女性リーダーによる MPP を開催します。女性リーダー書きおろしのトライアルケースで熱い討議をしましょう。会場は山形市山形テルサ。申し込み受付中です。

　NJK は女性経営士が中心になって企画・運営を行っています。女性ならではのしなやかな発想ときめ細かさを強みとしています。参加条件に男女の差はありません。

連絡・問い合わせは NJK 島影まで
bzu03624@nifty.com　090-1812-9812

9．オーシャンズ

オーシャンズ第 14 回定例会の実施

初夏を思わせる快晴の中、若葉が深い緑に変化する木々が一番美しい 6 月 7 日の日曜日に、午前 10 時からメンバーが集まってオーシャンズの第 14 回定例会を実施しました。今回も 3 カ月ぶりに集まったメンバーは 25 名でした。開催場所は今回も嘉悦大学の大学院の教室をご厚意によりお借りして盛大に開催いたしました。

今回も、第 1 部の「道場」には講師の登竜門として門戸をたたいた経営士養成講座 40 期生の紙野研二さんより素晴らしい内容の「良い会社の選びかた」のお話を 1 時間にわたりプレゼンテーションをして頂きました。今回も 2 人の師範 & 道場主に評価を戴き、ご指摘 & サゼッションを戴きましたが、総合評価としては 「合格」の評点を戴き、次期講座の講師としてスタートすることを約束されました。更に今回で 3 回目の「NGO 組織（Hope）のフィリッピンの貧困層からの自立」の現地調査を主体にした活動内容 & 今後の取り組みを 4 人の NGO メンバーよりご紹介していただきました。若い男女 2 人ずつのスピーチは臨場感　あふれる内容でした。

ランチは今回も恒例の「ポットラック･ランチ」を実施して、参加者の皆さんから、主食やデザート、飲みもの等、他種にわたる料理が提供されて、その豪華さと美味しさに参加者一同舌ずつみを打って食事の 1 時間後は満腹となり、あっという 1 時間のランチ・タイムでした。

第 2 部は森田より 2014 年の日本企業の決算状況の自動車を中心に結果と今後の見通しなどを交えてレポートしました。更に今回のメーンイベントである「歯と健康」について河津寛院長（明海大学教授）& 長谷川雄一歯科医師よりご講話を戴きました。参加者の皆さんは「目からうろこ」の話しで、驚きと新知識の吸収の連続で歯と健康とその効果などについて勉強しました。Q&A は何時もより皆さん自身の身近な　質問が多く出されて、素晴らし講演でした。更に、いつもの様に英語の「ワンポイント・レッスン」を宮原早苗さんよりお話と、英語によるジャンケンポン大会を行い優勝者には景品が渡されました。

第 3 部の懇親会は花小金井の居酒屋でワイワイ・ガヤガヤとアッと言う間の 2 時間でした。今回も 5 人の女子の参加を戴き、とても華やかの楽しいひと時を過ごさせていただきました。“See you again.”

（報告者：森田　喜芳）

10. 支部活動予定

支部研究会開催予定

【東北支部】

＊第２期経営士補養成講座 in 森岡
6月27日（土）～7月25日（土）の5日間 10：00～17：00
いわて県民情報交流センター アイーナ

＊福島支援センター MPP 研修
7月18日（土）13：30～16：30
郡山市民文化センター

＊ NJK 女性経営士の会 in 山形
8月29日（土）
山形テレサ

＊ブラッシュアップ研修
9月12日（土）
深田会計マネジメンツ研修室

＊第３期経営士補養成講座 in 郡山
10月24日（土）～11月14日（土）の5日間 10：00～17：00
郡山駅前（予定）

【北関東支部】

＊茨城県会月例会
（北関東フォーラム準備）
7月11日（土）13：30～16：30
ひたちなか商工会議所

＊茨城県会公開 MPP
9月19日（土）13：30～16：30
ひたちなか商工会議所

＊茨城県会月例会
10月17日（土）13: 30～16：30
ひたちなか商工会議所

【埼玉支部】

＊ CSR 研究会
7月6日（月）18：00～20：00
さいたま市シーノ大宮桜木公民館 5F 会議室

＊ BM キャンバス研究会
7月10日（金）19: 00～21：30
浦和コミュニーケーションセンター 10F5 集会室

＊公開研修会
7月11日（土）13：00～17：00
浦和コミュニーティセンター 10F8 集会室

＊公開研修会
8月2日（日）13：00～17：00
武蔵浦和コミュニーティセンター 第7集会室

＊ BM キャンバス研究会
8月7日（金）19：00～21：30
浦和コミュニーケーションセンター 10F8 集会室

【東京支部】

＊一木会
7月2日（木）15：00～17：00
ホテルグランドヒル市ヶ谷2階

＊ MPP 開催
7月18日（土）13：00～16：00
（受付 12時30分）
東京経営支援センター大門事務所

＊ TAMA マネジメント研究会
7月25日（土）14：00～17：00
三多摩労働会館

＊ TAMA マネジメント研究会
8月22日（土）14：00～17：00
三多摩労働会館

＊一木会
9月3日（木）15：00～17：00
ホテルグランドヒル市ヶ谷2階

＊ TAMA マネジメント研究会
9月26日（土）14：00～17：00
三多摩労働会館

＊一木会
10月1日（木）15：00～17：00
ホテルグランドヒル市ヶ谷2階

【南関東支部】

＊経営士懇話会
7月3日（金）17：00～19：00
TS ビル 16F, パソナ（株）横浜支社会議室

＊組織開発研究会
7月11日（土）10時～12時
大和市勤労福祉会館　中会議室

＊販路開拓マーケティング研究会
7月18日（土）10：00～12：00
日向建設ビル4階会議室

＊経営財務研究会
7月11日（土）14：00～16：00
かながわ県民センター

＊経営士懇話会
9月4日（金）17：00～19：00
TS ビル 16F, パソナ（株）横浜支社会議室

＊経営士懇話会
10月2日（金）17：00～19：00
TS ビル 16F, パソナ（株）横浜支社会議室

【中部支部】

＊ ECO 研究会
7月12日（日）9：30～11：30
名古屋市芸術創造センター

＊商業問題研究会
7月12日（日）12：30～14：30
名古屋市芸術創造センター

＊幹事会
7月26日（日）9：30～11：30
名古屋市芸術創造センター

＊ MPP 研究会
7月26日（日）12：30～15：30
名古屋市芸術創造センター

東京支部 MPP 開催案内

1．開催日：2015年7月18日（土）
2．時　間：13時～16時（受付　12時30分）
3．場　所：東京経営支援センター　大門事務所
セントラルビル4階
NPO IAI ジャパン内
〒105-0012　港区芝大門 2-2-7
http://www.keieishi-tokyo.com/officemap.html
4．会　費：1,000円　当日持参願います
5．募集人数：先着8名（8名で締め切らせていただきます。）
6．ケース（案）61-002-198　社員の意識改革
7．申込先：tokyo-sb@ktd.biglobe.ne.jp
（東京経営支援センター）
又は、Ohnoy38@nifty.com（大野）
又は、FAX：03-6435-9028

11. MPP

平成 26 年度 MPP 取得単位一覧表〈5 単位以上〉

平成 27 年 3 月 31 日現在

会員番号	氏　名	支　部	県　会	取得単位数
4544	近藤　安弘	南関東	山　梨	36
2298	劉　成基	台湾特別	—	25
4516	陳　信安	台湾特別	—	23
4827	林　漢郷	台湾特別	—	20
4984	萩原　玄	埼　玉	—	19
3053	李　孟熹	台湾特別	—	19
3970	塚本　裕宥	北関東	茨　城	17
5153	藤原　義宏	南関東	神奈川	16
5107	金子　孝幸	南関東	山　梨	16
3343	邱　炳輝	台湾特別	—	16
4802	邱　黎燦	台湾特別	—	16
4096	阿部　幸男	南関東	神奈川	15
4994	一瀬　良之	南関東	山　梨	15
4408	大野　喜章	東　京	—	14
4760	島影　教子	東　京	—	14
3584	鈴木　健	南関東	神奈川	14
4905	陳　益世	台湾特別	—	14
5035	曾　為國	台湾特別	—	14
4595	黄　世欽	台湾特別	—	13
5116	荘　翔斌	台湾特別	—	13
4386	中島　清介	千　葉	—	12
2699	藤倉　恒男	北関東	栃　木	12
4733	広瀬　典仁	南関東	山　梨	12
4997	松永　桂子	南関東	山　梨	12
2680	日野　隆生	東　京	—	12
5119	三品　富義	中　部	愛　知	12
5117	陳　俊硯	台湾特別	—	11
2958	上野　延城	埼　玉	—	10
4869	臼倉恵美子	埼　玉	—	10
3034	炭谷　昂	南関東	静　岡	10
4418	河上　晃	近　畿	大　阪	10
4945	江尻　敏彰	中　国	岡　山	10
5062	陳　建州	台湾特別	—	10
5115	呉　奇岳	台湾特別	—	10
5131	翟　玉振	台湾特別	—	10
2320	櫻井　ミス	東　京	—	9
4348	藤本　賢司	中　国	山　口	9
2972	張　銘江	台湾特別	—	9
5221	蔡　有義	台湾特別	—	9
2005	香山　務	北関東	栃　木	8

会員番号	氏　名	支　部	県　会	取得単位数
2496	深井　雄二	北関東	栃　木	8
3185	大垣　壽雄	北関東	栃　木	8
4919	金廣　利三	中　国	岡　山	8
5046	伊達　彰	中　国	岡　山	8
4334	謝　明堂	台湾特別	—	8
5123	李　啓華	台湾特別	—	8
2358	佐藤　光子	東　北	山　形	7
4908	橋本　琢磨	北関東	茨　城	7
1112	森川　昇	北関東	栃　木	7
3254	伊藤　三男	中　部	愛　知	7
2421	大内　正雄	九　州	福　岡	7
4804	陳　木梓	台湾特別	—	7
3966	庄司　芳昭	東　北	宮　城	6
1108	赤池　知保	東　京	—	6
4930	青樹　道弘	東　京	—	6
834	髙橋　栄一	南関東	神奈川	6
4634	小野　直人	南関東	山　梨	6
4992	石垣　悦子	南関東	山　梨	6
3753	大久保　一	中　国	広　島	6
5014	案浦　浩二	九　州	福　岡	6
2452	鶴岡　義明	千　葉	—	5
4624	臼井　邦夫	北関東	栃　木	5
5009	渡邉　勝弘	北関東	栃　木	5
5207	菊地　彰	北関東	栃　木	5
4269	齋藤誠一郎	東　京	—	5
5002	津田　嵩	南関東	神奈川	5
2468	鶴田　芳久	南関東	静　岡	5
4613	竹内　一登	南関東	静　岡	5
5011	久米　行子	南関東	静　岡	5
5106	一瀬千恵美	南関東	山　梨	5
5005	中津　啓	中　部	愛　知	5
5042	守屋　敏幸	中　部	愛　知	5
4250	近藤　肇	中　部	岐　阜	5
3693	鳥越　國男	中　国	広　島	5
4617	加藤　洋吉	中　国	広　島	5
5217	加藤　安德	中　国	広　島	5
1210	山内　輝光	九　州	福　岡	5
4054	神﨑　進	九　州	福　岡	5
4803	陳　麗如	台湾特別	—	5

MPP 高単位取得者一覧表〈通算 30 単位以上〉

平成 27 年 3 月 31 日現在

会員番号	氏　名	支　部	県　会	取得単位数
2298	劉　成基	台湾特別	—	495
1108	赤池　知保	東　京	—	376
2958	上野　延城	埼　玉	—	348
3970	塚本　裕宥	北関東	茨　城	319
3053	李　孟熹	台湾特別	—	309
4096	阿部　幸男	南関東	神奈川	308
493	間　敏幸	南関東	神奈川	294
900	水野　刀治	南関東	静　岡	266
923	大橋　忠	南関東	静　岡	250
3034	炭谷　昂	南関東	静　岡	232
2972	張　銘江	台湾特別	—	227
209	平山　道雄	東　京	—	225
2320	櫻井　ミス	東　京	—	224
3584	鈴木　健	南関東	神奈川	190
2976	黄　誠雄	台湾特別	—	182
4408	大野　喜章	東　京	—	177

会員番号	氏　名	支　部	県　会	取得単位数
1953	皆川　勝弘	北関東	茨　城	168
571	太田　能史	九　州	福　岡	160
2680	日野　隆生	東　京	—	151
574	牧野　正弘	東　北	秋　田	150
2022	磯部　正美	北関東	新　潟	149
442	渡部　喜政	東　北	秋　田	144
648	後藤彦一郎	九　州	福　岡	138
4262	劉　大椿	台湾特別	—	137
3343	邱　炳輝	台湾特別	—	130
4334	謝　明堂	台湾特別	—	129
4386	中嶋　清介	千　葉	—	128
149	作田　賢一	北関東	群　馬	122
4418	河上　晃	近　畿	大　阪	121
2042	木村　泰博	北関東	新　潟	118
3686	鈴木　勇	北関東	茨　城	116
2005	香山　務	北関東	栃　木	116

11. MPP

会員番号	氏　名	支　部	県　会	取得単位数
4595	黄　世欽	台湾特別	—	116
2421	大内　正雄	九　州	福　岡	115
4077	青木　譲二	中　国	広　島	111
4827	林　漢郷	台湾特別	—	111
2603	山口　稔	東　北	宮　城	109
1113	竹永　哲夫	東　北	山　形	106
4516	陳　信安	台湾特別	—	103
1340	髙橋　幸雄	南関東	神奈川	101
4544	近藤　安弘	南関東	山　梨	97
1793	宍戸　孝郎	東　北	宮　城	95
2721	上田　隆一	埼　玉	—	95
1150	出村　忠廣	南関東	神奈川	93
4269	齋藤誠一郎	東　京	—	92
2404	加藤　久幸	南関東	神奈川	92
4412	東原　實	四　国	香　川	92
756	滝沢　壮治	東　京	—	91
4018	松尾　實	東　京	—	90
2041	渡辺　良男	北関東	新　潟	89
425	大嶋　祥司	北関東	群　馬	88
2358	佐藤　光子	東　北	山　形	85
961	中山　惠詞	埼　玉	—	85
2323	藤原　義博	九　州	大　分	83
4760	島影　教子	東　京	—	80
4054	神﨑　進	九　州	福　岡	80
1210	山内　輝光	九　州	福　岡	79
911	鈴木　祥浩	近　畿	大　阪	78
2719	林　久雄	千　葉	—	74
4013	豊田　賢治	埼　玉	—	74
3562	蔡　全智	台湾特別	—	74
4930	青樹　道弘	東　京	—	73
3249	松永　準一	中　部	愛　知	73
4802	邱　黎燦	台湾特別	—	73
4804	陳　木梓	台湾特別	—	73
4703	佐藤昌次郎	近　畿	兵　庫	72
1121	中野　澄雄	中　国	広　島	71
4905	陳　益世	台湾特別	—	71
4984	萩原　玄	埼　玉	—	70
3693	鳥越　國男	中　国	広　島	70
4702	瀬尾　寿和	近　畿	京　都	69
4024	藤島　公平	中　国	山　口	69
2452	鶴岡　義明	千　葉	—	67
834	髙橋　栄一	南関東	神奈川	67
4125	鑄方　貞元	近　畿	兵　庫	67
3176	桒山　一宏	北関東	新　潟	64
2367	茂木　達男	東　北	山　形	63
1868	石黒不二夫	南関東	神奈川	63
2306	山本　正樹	中　国	岡　山	63
3894	田中　實	東　京	—	62
3355	植木　和宏	四　国	高　知	62
1344	竹沢　悦男	北関東	群　馬	60
2979	五十嵐昭平	東　京	—	59
4348	藤本　賢司	中　国	山　口	59
3116	伊藤　彰彦	南関東	静　岡	57
4250	近藤　肇	中　部	岐　阜	57
2928	石橋　易居	九　州	福　岡	57
1112	森川　昇	北関東	栃　木	55
2699	藤倉　恒男	北関東	栃　木	55
2311	高田　英二	四　国	愛　媛	55
4376	栗原　弘	北海道	札　幌	54
3753	大久保　一	中　国	広　島	54
1559	岸田　晴樹	北海道	札　幌	53
462	天野　勇	東　京	—	52
2104	太田　顕	南関東	静　岡	51
4733	広瀬　典仁	南関東	山　梨	51
4390	篠原　和彦	近　畿	大　阪	51
3682	坂井　晶	中　国	山　口	51

会員番号	氏　名	支　部	県　会	取得単位数
2256	小林　敏雄	埼　玉	—	50
4945	江尻　敏彰	中　国	岡　山	50
4705	岩井美喜夫	四　国	香　川	50
4936	陳　邦銘	台湾特別	—	50
4302	長谷川大二	南関東	神奈川	49
2468	鶴田　芳久	南関東	静　岡	49
4311	高村　一文	北海道	札　幌	48
5035	曾　為國	台湾特別	—	48
4432	益子　直行	北関東	茨　城	47
2929	山本　英夫	南関東	静　岡	47
3872	加藤　健二	中　部	愛　知	47
3185	大垣　壽雄	北関東	栃　木	46
3602	原田　秀雄	東　北	山　形	45
3626	越智　周三	四　国	愛　媛	45
2318	廣瀬　慧	中　部	三　重	44
3829	岩井美津子	四　国	香　川	44
606	野崎　繁	北海道	札　幌	43
4869	臼倉恵美子	埼　玉	—	43
1035	正林　滋二	埼　玉	—	40
2099	大野　俊次	埼　玉	—	40
4704	戸田　泰夫	中　国	広　島	40
3358	小笠原悦弘	四　国	高　知	40
3751	鈴木　宏	東　京	—	39
896	鎌田　益幸	南関東	神奈川	39
4881	金子　勝祐	南関東	神奈川	39
3254	伊藤　三男	中　部	愛　知	39
4090	高畑　勉	中　部	富　山	39
1087	旗　正男	中　部	石　川	39
507	八乙女賢三	東　京	—	38
4175	石川賢太郎	東　京	—	38
4992	石垣　悦子	南関東	山　梨	38
5107	金子　孝幸	南関東	山　梨	38
4638	黄　振城	台湾特別	—	38
4833	南　寛保	東　京	—	37
2224	大橋　久	中　部	岐　阜	37
2496	深井　雄二	北関東	栃　木	36
4624	臼井　邦夫	北関東	栃　木	36
1255	森川　重義	中　部	岐　阜	36
3966	庄司　芳昭	東　北	宮　城	35
3273	川島　秀男	埼　玉	—	34
1114	佐藤　太一	東　京	—	34
5109	古屋　晶子	南関東	山　梨	34
4513	石田　茂	中　国	広　島	34
4554	加藤　和弘	東　北	山　形	33
2035	川崎　秀雄	千　葉	—	33
4994	一瀬　良之	南関東	山　梨	33
4081	鈴木　伸一	千　葉	—	32
1046	飯塚　清	北関東	群　馬	32
4613	竹内　一登	南関東	静　岡	32
4132	佐藤　亙	南関東	山　梨	32
5106	一瀬千恵美	南関東	山　梨	32
770	阿刀田　実	埼　玉	—	31
1802	寺坂　勝己	埼　玉	—	31
1045	五十嵐　満	北関東	群　馬	31
4466	小竹　正倫	東　京	—	31
4073	風間　重徳	南関東	山　梨	31
973	丸川　忠篤	近　畿	大　阪	31
4116	塚元　啓幸	四　国	香　川	31
4335	謝　屏	台湾特別	—	31
1679	掛札　彰久	東　北	秋　田	30
4648	長谷川奉彦	北関東	群　馬	30
4609	中野　伸一	北関東	新　潟	30
4588	山上　一樹	近　畿	兵　庫	30
4657	西尾　廣幸	九　州	長　崎	30
5116	荘　翔斌	台湾特別	—	30

12. 支部活動報告

ブラッシュアップ研修・定時報告会・記念講演 大成功に終わる

東北支部

①［報　告］

開　　催　　日：平成 27 年 5 月 23 日（土）
開 催 場 所：スマイルホテル仙台国分町 3 階　シェルブール仙台
スケジュール：10：00 ～ 12：00　オリエンテーション
　　ブラッシュアップ研修　　講師　深田一弥氏、掛札彰久氏
　　13：00 ～ 14：00　定時報告会
　　14：30 ～ 16：30　記念講演「落ちこぼれがつくった世界一のクラゲ水族館」
　　講師　鶴岡市加茂水族館前館長　村上龍男氏
　　17：00 ～ 18：00　懇親会

〈支部長あいさつ〉

皆様　お忙しい中、定時報告会にご出席、ありがとうございます。皆様のご協力で東北支部は大変活動的に飛躍いたしました。感謝申し上げます。27 年度の東北支部は『会員同士の信頼』を掲げました。人を信じることは簡単ではありません。人を信じることは、自分との戦いだともいわれます。私たち経営士はまず仲間を信頼することを、身をもって、実践することで、クライアントにも伝わるのではないでしょうか。知識が飽和し、正解など、ない時代において、経営士の役割は、経営者をマインド面から支えるコンサルタントであると思います。お互いに会員同士、スキルを高め、頑張っていきましょう。簡単ではございますが、これで支部長挨拶といたします。

（定時報告会風景）

（会員ブラッシュアップ研修風景）

横山のりこ　会員

新会員として初めての参加でした。私はまだ経営士としての活動はしていませんが、日々の仕事に活かせる内容であり、とても中身の濃い内容でした。研修Ⅰは、人間関係の構築の仕方と、掛札先生が独自で実践している『組織活性化プログラム』の内容でした。特に印象深いのは「元気な人と一緒に仕事をする。」「自分一人で何でもやろうと思わず、相手に必要とされる人を、自分の人間関係から紹介する。」でした。すぐ活用したいと思いました。研修Ⅱでは独特の世界観がある深田先生の話で、三国志をベースに「戦略・戦術・戦法・戦闘」という見方で経営学を伝授して頂きました。戦略も戦術も戦法も一即多に考えてしまうため、問題解決にも的外れな事をする企業が多いという話には思わず納得でした。経営士の諸先輩方の 1 分スピーチにも面白い話が多く、記念講演の加茂水族館の元館長・村上氏の話にも感動しました。感動すれば自然に人から人へ伝えるものです。相手が『私の人間味』を理解し、必要な存在であれば、必要な人の所に導かれると思っています。そのためにも自分を磨き人格を高め、知識を吸収したいと思いました。有意義な研修会に参加することができ感謝いたします。

12. 支部活動報告

長峯　英二　会員

会員ブラッシュアップ研修

『経営戦略とは』深田一弥先生からは、三国志を題材に、歴史から経営戦略を学びました。深田先生は、「経営戦略とは目標達成のための最高意思決定である」と定義づけ、戦略を考えるには先ず目標が明確でなければならない、目標を明確にした上で戦略、戦術、戦法、戦闘を決定するのだと話されていました。企業経営においても、目標達成の為に長・中・短期経営計画を立て経営トップが使命感と情熱を持ち、自ら率先垂範していくことが重要であると再認識致しました。

『経営士としてどう仕事にするか!』掛札彰久先生からは、「専門分野を持つことが経営士として成功する道です。ぜひ機会と強みを書き出してみてください」というお話しを頂きました。会計事務所に勤務する私ですが、あらためて自分の専門分野は何か？と問ういい機会になりました。起業のご支援と相続・事業承継設計が私の好きな分野です。法人数の減少、相続税の改正にみるいずれも時代が要請する重要な分野であると認識しています。この二つの好きを絶対的な強みに変える為に、まだまだ勉強しなければいけないと感じた研修でした。深田先生、掛札先生、ありがとうございました。

伊藤　仁　会員

会員ブラッシュアップ研修に参加して

私は、昨年養成研修後、経営士として登録させて頂きました。今回ブラッシュアップ研修に参加させて頂き、先輩経営士の方々より、経験談を交えた貴重な講義を頂きました。掛札講師からは、経営士として活動をするにあたってご自身の経験を交えたコンサルタントのあるべき方向性について熱く語って頂きました。特にどんな分野でも良いから専門の分野を掘り下げて学び研究することが大切であり、オンリーワンを目指すことの大切さを学ぶことが出来ました。また、深田顧問からは、経営に関する重要なキーワードである戦略、戦術、戦法等の違いについて、三国志や大東亜戦争時の日本国軍部の事例を題材に、分かり易くユーモアを交え解説頂きました。日頃、コンサルタントの現場で曖昧に使いがちでありますが、今回の研修で、それぞれの経営のキーワードを組織の中で誰が決定し、実施するのか、また間違った使い方をすることにより、如何に組織は崩壊するのか、大変興味深く学ぶことが出来ました。今後もこのような会員同士の貴重なお話を聞く機会に積極的に参加し、自身の経営指導スキルの向上に努めたいと思った貴重な研修会でした。

〈記念講演〉

弱冠27歳にして館長に就任した村上氏が、いつ潰れてもおかしくないほどに疲弊していた弱小水族館を、「クラゲ」との出会いにより世界中から一目置かれるほどにまで復活させた47年間の館長人生のエピソードを紹介。その中で行政との軋轢にも屈せず攻めの経営を貫いた、強い信念や情熱をジョークを交えて伝えられ、また退館の裏エピソードも聞けるなど、非常に楽しく興味深い内容であった。途中退席を予定されていた方も、結局最後まで聞き入ってしまうほどで、大盛況の勢いが止まらない現在の加茂水族館の状況も当然と思わせる、大変素晴らしい講演であった。

（文：表伸也）

（加茂水族館前館長　村上龍男氏　講演風景）

（小林実氏　質問風景）

12. 支部活動報告

〈懇親会〉

（懇親会風景）

②　～東北支部から躍動！誇る経営士の声～

表　伸也　会員

日本経営士会には、環境経営士の認定で平成24年5月に東北支部準会員として入会。その年9月～12月に東北支部第1期経営士養成講座を受講し、平成25年1月に正式に経営士認定され正会員として入会いたしました。その後、平成25年6月に第1期プロコンサルタント育成講座（当時の「経営力強化コンサルタント養成講座」）を受講し修了。平成25年8月～11月東北支部第2期経営士養成講座サポーターとして参加。平成25年12月経営革新支援アドバイザー認定、平成26年1月経営支援アドバイザー認定。平成26年1月～3月第2期プロコンサルタント育成講座サポーター参加。平成26年度は、1年間第1期プロコンサルタント育成講座アドバンスコース受講、本部経営士養成講座「財務Ⅲ」講師東北支部事務局担当、東北支部第3期経営士養成講座「情報管理」及び「中小企業論」講師、東北支部第1期経営士補養成講座「経営情報システム」及び「中小企業論」講師等々、当初の予想に反して入会後アレヨアレヨという間に日本経営士会の活動に没入していった状況です。その結果、これまでなら出会うことが無いであろう方々と多数お知り合いになれ、非常に良い縁を得られたなぁと思うところでございます。また、非常に勉強の機会も増え、経営コンサルタントとしての知識や実務情報を沢山得ることができました。日本経営士会は、積極的に参加すれば沢山の成果が得られます。これまで余り参加されてない方は、ぜひセミナーやMPP研修等の様々なイベントにぜひ参加してみてください！

暑中お見舞い申し上げます

株式会社　東洋コンサルタント・グループ

代表取締役会長　渡部　喜政（６３．７入会）

事務所　秋田市中通３丁目４番５０号　秋田県農業共済会館４階

ＴＥＬ　018-833-2801　　ＦＡＸ　018-833-2802

12. 支部活動報告

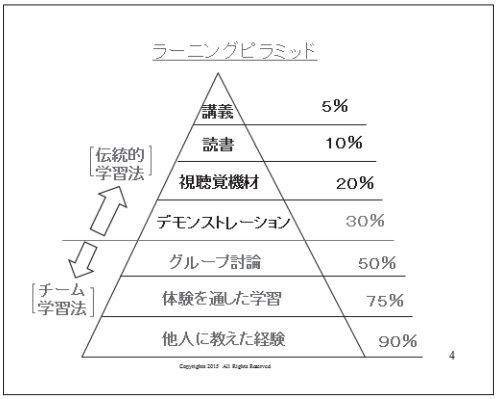
「中小企業会計啓発・普及セミナー」の開催

埼玉支部

埼玉支部では昨年に引き続き「にいざ ほっとぷらざ 3階会議室」において中小企業経営者、管理者他12名の参加者による中小企業会計啓発・普及セミナーを開催いたしました。

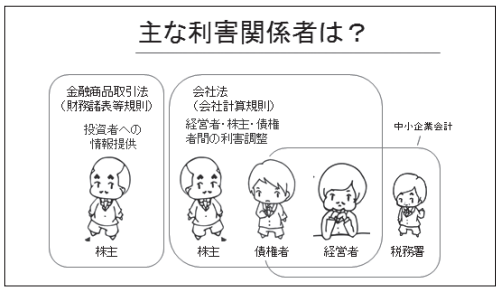
資料は、中小企業の実態に即した新たな会計ルール「中小会計要領」をベースとしながらも、今回はケーススタディを多く盛り込み、より実践的な内容の講義を行いました。

冒頭、春原講師より下記ラーニングピラミッドの説明と本日の講義をより記憶に定着させる為の問題を出題する為、チームでよく検討し発表していただきたい旨の説明が行われた。



（春原講師の講義風景）

次に前回受講生で、大手メーカーの技術者から転向し現在大学院で税理士を目指し勉強中の受講生から、「中小企業会計とは」と題したユニークなワンポイントセミナーが実施され、他の受講生も同じ受講者からの話しを聞くことで、更に脳が活性化されたように見受けられました。また、とても解り易いイラストで絵の素養もあるようです。



（わかり易い絵による解説）

（大学院生富岡様による説明風景）

今回の講義では多くの問題を講義の中に盛り込みましたが、事前に簡単なケースを解説してから問題を出さないと、受講生にとってはなかなか難しいようです。

それでなくても日頃から慣れていない決算書の作成やキャッシュフロー計算書の世界の為、頭を悩ませていた受講生のことが印象に残りました。

講師の私達もその点をよく理解し、次回の講義に活かして行きたいと考えております。

（レポート　春原　和夫）

12. 支部活動報告

2015年度　北関東フォーラム　開催結果

北関東支部（担当：茨城県会）

北関東支部では各県会が担当して、毎年、北関東フォーラムと会員会議を開催している。本年からはこの二つを併合、その初回をお世話係として茨城県会が担当した。

本年の担当県会である茨城県会では、目的として（一社）日本経営士会　北関東支部の活動内容を会員、会員外が共に広く知り、経営（ビジネス）支援の輪を広げたい旨を掲げ、具体的には、茨城県中小企業家同友会との協働を図るべく試みた。

経営士会は内向きでなく、外向き活動を主体にしたいとの目標を掲げたものである。

微力で緒に就いたばかりであるが、本フォーラムや公開MPPでは県外や会員外の参加者が増えており、これを橋頭堡としたい。同友会と支部内・外参加者に深く謝意を表する。

橋本琢磨、鈴木勇、松岡繁会員にも本会運営へのご支援・ご協力に謝意を表する。

概要を以下に示す。

1．開 催 日：2015年5月22日（金）～23日（土）
2．参 加 者：計20名（県庁、中小企業家同友会各1名、支部外4名・支部内14名）
3．開催場所：日立市　久慈サンピア日立
4．開催内容：
　1）22日13：00～16：30　小平記念館、日立アプライアンス多賀事業所　見学会
　　17：30～19：00　会員会議（会員報告会）
　　19：00～21：00　情報交換・懇親会
　2）23日09：30～12：00　報告・説明会
　　1）経営士会の概要：皆川勝弘支部長
　　2）経営支援の事例：橋本琢磨会員
　　3）中国大連等の海外紹介：塚本裕宥会員
　　4）ケースメソッドの概要：塚本裕宥会員
　　12：00～13：00　講演会　講師：橘川栄作　茨城県立地推進東京副本部長
　　戦後70周年記念筑波海軍（映画制作と地域興し）
5．小平記念館と創業小屋見学会の感想等：女性2名の説明者に感謝。
　1）明治時代という日本の夜明け、国産技術の未熟の時代、創業者　小平浪平氏の国産技術への思いを知った。紆余曲折はあるが、伝承できているようだ。
　2）同族経営にせず、技術力、経営力の優れた者に伝承、継承したことは小平浪平氏の慧眼と言えよう。今日のグローバル化に結果として対応できているようだ。
　3）火力部門は、三菱65%、日立35%で合併しており、今後に注目だ。
　　日立市民はこの辺の事情に疎く、過去の温もりを忘れぬのが気掛かりだ。
　　納税の守秘義務が理由、赤字企業が法人税を納めぬことを知らぬ市民がいる事実、企業城下町にはよい面、悪い面があり、市民の自覚が大切である（筆者の注記）
　4）日立製作所の歴史を知るには日立鉱山（銅山）の歴史を知る必要があり、今後同様の機会があるとよい。公害防止の原点など知ることができる（一部筆者の注記）

5）日立製作所は民需を志したが、図らずも兵器産業と関係、日立工場は空襲を受ける等、甚大な被害を受けた。慰霊碑や１トン爆弾の跡等を保存、戒めとしている。

6．日立アプライアンス多賀事業所見学会の感想等：女、男性各１名の説明者に感謝。

1）電磁（IH）調理器のセル生産を実際に見学できよかった。
これからもセル生産方式を進化すべく努力していた。説明者が熟知していた。
作業の合理化等人間工学を含め、改善努力している姿を理解できた。

2）家電の厳しい価格競争の裏側を実際に見ることができた。

3）オール電化や高齢者の火災防止にはIHは向くようだ、やけどには要注意だが。

4）日立の全自動洗濯機の生産は内作部品が多いと認識した。熟知の説明だった。
大きな成形機でバランスリング、ステンレス槽、クラッチ、モーター等も内作しているとは予想外だった。外注先から調達していると思っていた。

5）水漏れ試験等を全数実施しているのも予想外だった。

6）全自動洗濯機はコンベア作業、包装まで流れ作業だった。

7．報告・説明会：内容は省略、詳細に説明の橋本琢磨会員には感謝。

8．戦後70周年記念筑波海軍の講演会の感想等：

1）「茨城県の観光事業の紹介と講演者との懇談」の予定だったが、急遽変更。

2）急遽の変更だが、こういう感激的な講演は素晴らしい。
「感激で涙が出た」といった感想もあり。

3）学徒動員からの航空兵の養成、学業を志した彼らの無念と戦後への思いまで秘めて戦地に赴いた　彼らの死を無にしてはならない。
映画作り、地域興しへの思いが伝わった様子。

4）主催者として講演者を見つけ、要請したことがよかった。

5）講演者　橋川栄作　茨城県立地東京副本部長　に謝意を表する。

北関東フォーラムと会員会議の同時開催は合理的との感触を得ている。
参加会員の皆様のご理解、ご協力により、充実の北関東フォーラムになり感謝します。
よき伝統が今後も引き続くことを信じています。

（執筆：北関東フォーラム　お世話係　茨城県会　塚本裕宥）

（写真提供　橋本琢磨、鈴木勇　会員）

12. 支部活動報告

平成 26 年度 中部支部報告会開催

中部支部

（挨拶する伊藤三男　中部支部長）

日　時：平成 27 年 5 月 24 日（日）午後 2 時 30 分～
会　場：名古屋市芸術創造センター　6 階　参加者 14 名

1．平成 26 年度中部事業報告

1）支部研究会・研修会・委員会・幹事会の開催

平成 26 年度支部研究会は、MPP 研究会 8 回をはじめ、MI、ICT、ECO 等の研究会を合計 31 回開催。他に幹事会を 5 回、全国研委員会も 10 回行い充実溢れる年度となった。また、富山県支援センターでは月に 2 回、石川県支援センターでは月 1 回の研修会や研究会もそれぞれ実施された。

2）支部プロジェクト

① 第 48 回経営士全国研究会議　平成 26 年 10 月 13 日～ 14 日　於：ウエスティングナゴヤキャッスル

日本経営士会の平成 26 年度の重要行事として「第 48 回経営士全国研究会議・名古屋大会」を中部支部が主管し、皆様の絶大なるご協力を得まして台風接近という状況の中、成功裏に終えることができました。多くのお客様ならびに会員の方々から、たくさんの感動と感謝の声を寄せて頂き、改めましてご協力して頂きました皆様に感謝の意を申し上げます。

②「メッセナゴヤ 2014」出展　平成 26 年 11 月 5 日～ 8 日　於：ポートメッセなごや

中部支部として今回 6 回目の出展となる本部公益事業。今回は「交流が生み出す新たな飛躍～環境・安全モノづくり」をテーマにて日本最大級の異業種 1,315 社が参加し 6,5975 名の来場となった。高橋会長にも応援をいただき、経営士会の入会案内や無料経営相談、愛知学院大学との連携による「経営士補養成講座」開催について案内した。

③ 新春講演会及び賀詞交換会　平成 27 年 1 月 25 日　於：名古屋市芸術創造センター

・「パソナネットワークサービス事業における顧問エントリーについて」

東京支部　五十嵐　昭平様（パソナ顧問）より説明を頂き顧問エントリーの勧めがありました。

・「日本酒と楽しい経営学」と題し、日本酒を通じ経営の楽しさを講演頂きました。

講演者　愛知学院大学　経営学部　准教授　関千里（日本酒研究の第一人者）

2．平成 26 年度収支決算報告、監査報告

伊藤支部長より平成 26 年度の収支決算報告がなされ、財産状況は、監査にて適切にされたと認められた報告がありました。また、本部による平成 26 年度上期の中部支部監査が平成 27 年 2 月 20 日実施され問題ないことを確認していただいた報告がありました。

3．平成 27 年度中部支部事業計画

本会は中小企業経営支援ならびに地域社会等に関する専門家として、会員相互の交流と連携により高い能力を培い各分野における人材育成を通じて経済、地域社会の発展に寄与する目的の原点に立ち返り、今年は新規一転、中部支部の会員の方々一丸となって魅力ある経営士会を目指します。

主な事業計画

1）「メッセナゴヤ 2015」の異業種交流へ出展。平成 27 年 11 月 4 日（水）～ 7 日（土）
2）「環境ゲーム」の普及の促進。
3）「経営士補養成講座」の実施。（愛知学院大学と今後打合せ）
4）「環境経営士フォローアップセミナー」の 9 月実施予定。
5）「環境経営士養成講座」下期企画予定。
6）「ちゅうぶカーボン・オフセット EXPO 2016」に参加予定。
7）支部研究会を継続して研鑽の場として開催、また、無料セミナーも検討。
8）MPP の活用と MPP ケーススタディー作成促進。
9）支部ホームページにて会員紹介を活用する。
10）全国研研究論文の参加、ビジネス・イノベーションアワードの推薦をする。

（講演する加藤健二本部理事）

4．講演「アグリビジネスの創造と地域産業の活性化」講演者　加藤健二本部理事

副題として（農業に経営戦略とビジネス感覚の新しい視点を持つ！）で山形県セゾンファクトリーと四国の田舎の馬路村農協を比較され、販売価格、売上額、販売網の違い、素材の違い等、経営戦略として非常に勉強になる講演であった。

5．懇親会

報告会終了後、場所を移動し、懇親会を 13 名にて開催。平成 27 年度中部支部事業計画を皆で推進実行して行こうと話が盛り上り、最後に一丁締めにて閉会した。

12. 支部活動報告

近畿支部報告会の報告

近畿支部

6月6日(土)13時から近畿支部事務所にて、10名の参加で近畿支部の支部報告会を開催しました。

最初に、鋳方貞了理事があいさつ、26年度事業報告は酒井三雄支部長が、会計報告は中筋敏雄会計が、会計監査報告は浅見正義監事が報告し承認されました。27年度事業計画等を酒井三雄支部長が提案を行いました。参加会員からは、近畿支部活性化に向けた意見や要望・提案などが行われました。

近畿支部の支部活動の特徴

近畿支部は、会員とのコミュニケーションを第1とし、又会員が会員としてのメリットを感じること、および若い会員を増やし、活気ある支部をめざして取り組んできました。

1. 支部幹事会を支部の最高決定機関と位置づけ、毎月、最終週の金曜日18時から支部事務所で開催し、支部の活動、行事予定等についての意見を出し合い、幹事会の承認を得て実施しています。
2. 毎月支部ニュースを発行し、支部の活動内容、行事の案内、研究会の計画と動向を会員さんに知らせる取り組みを行っています。
3. 新年賀詞交歓会を、27年1月10日23名の参加で、難波神社でお祓いの後、会場を変え、新年賀詞会は、元ABCアナウンサー岩下隆氏から講演をいただき、会員の交歓会を行いました。
4. 第1回経営士補養成講座（27.1.17～1.30）開催し、受講者は若年者中心に8名受講4名が修了しました。
5. 支部会員のメールアドレスの登録と、講師をしていただく機会があった時のために得意分野・講師希望の登録を行いました。
6. 連携交流活動では、グランドジェネレーション研究所との交流活動を行っています。
7. 研究会の取り組み（会場は支部事務所）
   ①経営顧問研究会は、第1水曜日18時から11回開催し、のべ116名参加しました。また、5月には近畿経済産業局地域経済部次長玉野様から講演を行って頂きました。②環境研究会は、原則第3月曜日14時30分から11回開催し、のべ57名参加ました。③施設見学会は、年間で5回開催し、のべ62名が参加しました。

27年度近畿支部活動：ホームページの開設、会計セミナーの実施、MPP・事例研究会の再開

支部幹事会の定例化の推進と研究会の開催、支部ニュースとホームページでの発信の活動を前提とし、①研究会では、MPP・事例研究会を4月から原則第1月曜日13時から実施（他の行事と重なる場合は変更）。②第2回：経営士補養成講座を4月（27.4.4～4.18）に支部事務所で開催し、秋に第3回の開催を計画します。③会計セミナーを7月4日（土）13時30分から支部事務所と同会館の5階会議室で実施します。また、④創業セミナー、⑤エコ検定講座の実施に向け取り組むことを提案しました。

活　動　報　告

近畿支部

MPP 研究会報告

平成 27 年度第一回 MPP 研究会を開催しました。当日は 6 名の参加者で、現状を踏まえた上で、これからの研究会の方向性や具体的な施策をトライアルケースとして検討しました。

記

ケーステーマ：MPP 担当者の意識改革
開　　催　　日：2015 年 5 月 23 日　11 時 30 分～ 14 時 30 分
参　　加　　者：6 名

【検討結果】

1．MPP 制度理解　MPP 研究会の経験の浅い会員や初めての参加者もいるので、MPP パンフレットを準備して MPP 制度・参加時の単位取得や、ケース作成の流れなどを会員で共有する。

2．ケースについて　コンサルは必要とされている（困っている経営者も多い）はずなので、企業の経営者が気付かない課題解決ができるように研鑽する。中小企業の課題を解決するための、仕事の取れる（飯の食える）ケースが必要。本部のケースに特定せずに、身近な自主ケースも研究していく。

3．参加者を増やす　研究会を単に行うのではなく、マーケティング的に考え、会員が関心を持ち参加できるようにする。
ベテラン会員の動員方法を学び（接触方法、声かけ方法…など）身近な会員へ参加の声かけをおこなう。さらに賛助会員、会員外の参加も進める。

4．リーダー養成　研究会を継続して発展させるために、会員の参加とともに中心になる MPP リーダーを養成していく。

【今後の方向性】

今回の検討結果を少しずつ進めていき、MPP 研究会が会員の経営士活動に活かせるようにしたい。
（一社）日本経営士会本部 MPP 事業部の指導や支援をいただきながら、本部事業計画に併せて、近畿支部研究会も活動していきたいと考えています。
近畿支部会員のみなさん、ぜひ研究会へ参加してください。
今後の MPP 研究会予定です。（参加申込を事前にお願いします）

7 月 18 日（土）13 時～ 16 時 30 分　　会場：近畿支部事務所
8 月　1 日（土）13 時～ 16 時 30 分　　会場：近畿支部事務所
9 月 12 日（土）13 時～ 16 時 30 分　　会場：近畿支部事務所

（近畿支部　MPP 担当　河上　晃）

12. 支部活動報告

2014年度　中国支部MPP開催結果の報告

中国支部岡山経営支援センター長　江尻　敏彰

中国支部では、各県でのMPP開催に加え、年一回支部MPPを開催しています。本年度は「倉敷美観地区MPP」として、岡山県倉敷市で実施いたしました。

参加者は広島・山口・岡山の3県にまたがるとともに、会員外からの参加もあり、盛況な会となりました。

本会は一泊二日で実施されるのが特徴で、初日夜の懇親会では美酒美食で打ち解け、近況の情報交換、経営士会の運営、世の中の動き等、バラエティに富んだ話題で盛り上がりました。

研修会場を趣のある美術館の会議室を使用する等、岡山県を代表する観光地である倉敷美観地区を楽しんでいただくことができたのではと思います。

ケーススタディは2回実施し、一つは今岡山で話題になっているイオン岡山開業に関連する地元デパートに関連するテーマ、もう一つは会員外からの参加もあるということでコンサルを開業するための要件といったテーマを設定いたしました。

普段県単位でのMPPではどうしてもメンバー固定によるマンネリに陥りがちですが、支部単位でのMPPにおいては、人が変わると内要・結果も変わるという、ケースメソッドのメリットが生かされたと思います。

支部MPPは中国支部の看板行事の一つなので、今後は近隣の他支部及び会員外のかたについても、積極的に参加を募っていきたいと存じます。

1．開催日：2015年3月14日（土）15日（日）
2．参加者：2チーム13名（会員10名、会員外3名）
3．場　所：岡山県倉敷市
4．テーマ
　1）地方デパートの赤字対策（24-007-033）
　2）コンサルタント開業と営業活動のやり方（41-005-067）

以　上

インフォメーション

試験・講座・研修・セミナーご案内

研修・セミナー名	日　時	開催場所	詳　細	申し込み法
環境経営士養成講座 アドバンストコース	平成 27 年 7 月 18 日（土）～ 7 月 19 日（日） 9 時 30 分～ 17 時（2 日間）	日本経営士会本部 会議室	募集人員：10 名 受講料：20,000 円 /1 人	当会 HP、「環境保全活動のご案内」をご覧下さい
第 41 期経営士養成講座	平成 27 年 9 月 5 日（土）～ 10 月 10 日（日）9 時～ （土・日を中心に 11 日間）	LEN 貸し会議室、 アピアン四谷	募集人員：20 名 受講料：150,000円/1 人 補習講座、リクエスト講座あり	当会 HP、「経営士総合研究所からのお知らせ」をご覧下さい
環境経営士養成講座 ベーシックコース	平成 27 年 9 月 5 日（土） 9 時 30 分～ 16 時 50 分	日本経営士会本部 会議室	募集人員：10 名 受講料：10,000 円 /1 人	当会 HP、「環境保全活動のご案内」をご覧下さい
環境経営士養成講座 アドバンストコース	平成 27 年 9 月 12 日（土）～ 9 月 13 日（日） 9 時 30 分～ 17 時（2 日間）	日本経営士会本部 会議室	募集人員：10 名 受講料：20,000 円 /1 人	当会 HP、「環境保全活動のご案内」をご覧下さい
第 96 回経営士試験	平成 27 年 11 月 1 日（日）	日本経営士会本部 会議室	受験料：10,000 円	当会 HP、「経営士試験のご案内」をご覧下さい
第 5 回プロ・コンサルタント育成講座	平成 27 年 11 月 7 日（土）～ 12 月 5 日（土） （土・日を中心に 12 日間）	LEN 貸し会議室、 実習先企業、 アピアン四谷	募集人員：10 名 受講料：150,000円/1 人	当会 HP、「経営士総合研究所からのお知らせ」をご覧下さい

《名刺広告募集》

広報誌マネジメントコンサルタントに名刺広告の掲載を大募集しております。サイズによる金額は下記の通りです。

（会員価格）

- ○ 1 ページ　20,000 円
- ○ 半ページ　10,000 円
- ○ 1/4 ページ　5,000 円
- ○ 名刺サイズ　3,000 円
- ○ 表 4（カラー）　35,000 円

＊連続掲載につきましては、割引もありますので、本部事務局へお問い合わせ下さい。なお、会員外は 5 割増しです。

お詫び

今回号は、総会終了を待ち、総会の報告記事を掲載した為に、発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。

編集後記

鉢植えの朝顔が鮮やかに咲き競う良い季節になりました。今回は、総会の報告、全国研「成田大会」について詳しく掲載しております。今回号には、全国研の参加申込はがきが貼付してありますので、参加申込みをお願い致します。大暑に向かい、夏バテにお気を付けください！（田中）

暑中お見舞い申し上げます

一般社団法人 日本経営士会

会長	鶴岡 義明
副会長	佐藤 富夫
専務理事	中野 鐵三
常任理事	小林 祥三
常任理事	櫻井 ミス
理事	山口 稔
理事	加藤 健二
理事	鑄方 貞元
監事	松永 準一
監事	竹内 一登

北海道支部長	栗原 弘
東北支部長	佐藤 光子
北関東支部長	皆川 勝弘
千葉支部長	西村 豊
埼玉支部長	小西 洋三
東京支部長	東野耕一郎
南関東支部長	小林 登雄
中部支部長	伊藤 三男
近畿支部長	酒井 三雄
中国支部長	藤本 賢司
四国支部長	植木 和宏
九州支部長	山内 輝光
台湾支部長	林 漢卿

経営革新等成功企業・個人大募集！

第6回ビジネス・イノベーション・アワード2015
参加企業・団体等推薦のお願い

◆募集のご案内

「ビジネス・イノベーション・アワード」とは、経営革新や社会貢　献等で顕著な成果を上げた経営者、社会支援者、企業、団体、個人を表彰して、企業・法人等と地域社会の活性化を支援する目的で創設したもので、経営コンサルタントの立場から評価するものです。日本経営士会の公益目的事業です。

「第6回ビジネス・イノベーション・アワード2015」を、下記の要領にて募集します。自薦・他薦いずれの応募も歓迎いたします。会員各位には、支援先企業や地域企業などの推薦をお願い致します。

◆応募・選考スケジュール

応募受付期間：平成27年6月1日～7月20日
選　考　審　査：8月
選考結果発表：8月下旬
表　　彰　　式：10月11日（日）

◆募集（表彰）の対象範囲

経営革新、社会貢献、地域活性化等で顕著な成果をあげた企業、団体、個人を対象とします。

- ●経営改善や経営革新に取り組み、経営の立て直しまたは成長を実現した
- ●女性の視点で企業経営や地域社会に貢献した
- ●独自の人材教育や人的資源を活用して成果につなげた
- ●多様な働き方に配慮しただダイバーシティマネジメントやライフワークバランスを重視した経営に取り組み、成果につなげた
- ●ビジネスの創造により、独自の分野で起業して成果につなげた他

★応募方法・申請書用紙など、一般社団法人日本経営士会ホームページをご覧ください。

http：//www.keieishikai.com

一般社団法人日本経営士会

担当　竹下克美

〒102－0084　東京都千代田区二番町12－12　B. D. A. 二番町ビル5階
TEL. 03－3239－0691　FAX. 03－3239－1831